

生駒市病院事業計画新旧対照表

改定前

P4

2 診療科目、各診療科目の病床数及び診療方針

(1) 診療科目

次の10診療科を設置します。

内科	消化器内科	循環器内科	小児科	外科
整形外科	脳神経外科	産婦人科	リハビリテーション科	放射線科

P5

3 人員体制及び医療従事者の確保の方法

(1) 人員体制

職種	人数	備考
医師	23名	小児科2名、産婦人科3名、一般内科4名、循環器内科2名、消化器内科1名、放射線科1名、一般外科4名、脳神経外科2名、整形外科2名、リハビリテーション科1名、麻酔科1名
	(省略)	
合計	196名	

改定後

P4

2 診療科目、各診療科目の病床数及び診療方針

(1) 診療科目

次の14診療科を設置します。

内科	消化器内科	循環器内科	外科	脳神経外科
整形外科	形成外科	小児科	腎臓泌尿器科	産婦人科
リハビリテーション科	放射線科	救急科	麻酔科	

P5

3 人員体制及び医療従事者の確保の方法

(1) 人員体制

職種	人数	備考
医師	25名	小児科2名、産婦人科3名、一般内科4名、循環器内科2名、消化器内科1名、放射線科1名、一般外科3名、脳神経外科2名、整形外科2名、リハビリテーション科1名、麻酔科1名、形成外科1名、腎臓泌尿器科1名、救急科1名、
	(省略)	
合計	198名	

(2) 施設の概要

生駒市立病院 新築工事 計画案

地名・地番	奈良県生駒市東生駒1丁目6番2		
地域・地区	商業地域	80/400	防火関係： 防火地域
高度地区	31m高度地区		日影規制： 無し
敷地面積	5,500.00 m ²	(1,663.75 坪)

面積検討表

許容建築面積	5,500.00	×	0.8	=	4,400.00 m ²
許容延床面積	5,500.00	×	4.0	=	22,000.00 m ²

駐車台数	屋外	8台	地下	150台	合計	158台
駐輪台数						21台
ハコ置場台数						27台
建築面積		3,619.49 m ²				
延床面積		27,345.04 m ²	(容積対象面積		21,935.02 m ²)	
		8,271.83 坪			6,635.31 坪	
建蔽率		65.81 %	<		80.00%	
容積率		398.81 %	<		400.00%	
残余面積		64.98 m ²				

	床面積	床面積	病床数
	m ²	坪	申請床
7	851.27	257.51	
6	3,026.68	915.57	
5	3,114.12	942.02	104 床
4	3,131.00	947.12	99 床
3	3,266.50	988.11	7 床
2	3,266.50	988.11	
1	2,989.81	904.41	
	(内駐車場 75.52)		
B 1	3,869.25	1,170.44	
	(内駐車場 2,639.05)		
B 2	3,829.91	1,158.54	
	(内駐車場 2,695.45)		
合計	27,345.04	8,271.83	210 床
容積対象	21,935.02	6,635.31	

(2) 施設の概要

地名・地番	奈良県生駒市東生駒1丁目6番2		
地域・地区	商業地域	80/400	防火関係：防火地域
高度地区	31m 高度地区		日影規制：無し
敷地面積	5,500.03 m ²	(1,663.76 坪)	
許容建築面積	5,500.03 × 0.8 = 4,400.024		
許容延床面積	5,500.03 × 4.0 = 22,000.12		
駐車台数	屋外 7 台	地下 143 台	合計 150 台
駐輪台数	21 台		
バイク置場台数	27 台		
建築面積	3,632.90 m ²		
延床面積	28,094.34 m ²	(容積対象面積	21,208.49 m ²)
	8,498.54 坪		6,415.57 坪
建蔽率	66.1%	<	80.00%
容積率	385.6%	<	400.00%

	床面積	床面積	病床数
	m ²	坪	申請床
7	1,032.07	312.20	
6	3,112.36	941.49	
5	3,158.02	955.30	104 床
4	3,188.70	964.58	99 床
3	3,326.00	1,006.12	7 床
2	3,315.45	1,002.92	
1	3,164.00	957.11	
	(内駐車場 194.44)	58.82	
B1	3,895.62	1,178.43	
	(内駐車場 2,550.13)	771.41	
B2	3,902.12	1,180.39	
	(内駐車場 2,497.68)	755.55	
合計	28,094.34	8,498.54	210 床
容積対象	21,208.49	6,415.57	

(3) 各階配置計画

生駒市立病院配置表

商業地域、31m高度地区、建ぺい/容積=80/400
 延床面積 27,345.04㎡(8271.83坪)
 敷地面積 5,500㎡ (1,663.75坪)

		申請病床			
		西	東		
病 院	7階	院内保育室、倉庫、事務室、講堂、蓄電池室、電気室、屋上庭園		0	0
	6階	医局、更衣室、カンファレンス、サーバー室、図書室 会議室、当直室、院長室、看護部長室、看護部室、倉庫 診療情報室、医療管理室、印刷室、安全管理室、事務室、 病診連携室、将来対応スペース		0	0
	5階	西病棟（4人室9室、個室12室、特別個室1室、観察室3室） 東病棟（4人室9室、個室12室、特別個室1室、観察室3室） 看護師休憩室、師長室、当直室、汚物処理室、準備室、処置室 病棟薬局、相談室、リネン室、倉庫、空調機械室		52	52
	4階	産婦人科病棟（4人室2室・個室10室・LDR室2室・産科処置室 準備室・沐浴室・授乳室・調乳室・診察室・新生児室） 小児科病棟（個室4室・4人室4室・プレイルーム） 一般病棟（個室16室・4人室10室） 看護師休憩室・師長室・当直室SS、リネン庫、汚物処理室、準備室 処置室、相談室、病棟薬局、観察室（HCU）3床		48	51
	3階	オペ室（1～5）、BCR室、将来対応スペース、器材庫、記録室 ICU（7床）空調機械室、リネン室、当直室、ME室 麻酔医室、SS、廃棄物保管庫、洗浄室、家族説明室 デｲｯｼﾞﾈｰﾙ（診察室・更衣室・待合室） ﾘｶﾞﾘｰﾈｰｼﾞｮﾝ科（外来・SS・ST室・更衣室・倉庫・スタッフ室） 循環器内科（診察室・処置室・I-I室・心電図室・負荷心電図室・SS） CAG室、機器庫、操作室、リカバリー室、将来対応スペース		7	0
	2階	人工透析（透析室・器材庫・カンファレンス・診察室・男女更衣室 ラウンジ・SS・感染室・CAPD・スタッフ室） 内視鏡センター（リハビリ室・上部内視鏡室・下部内視鏡室 男女更衣室・SS・スタッフ室・検体検査室・病理検査室 標本倉庫・診断室・切出・倉庫・前室・細菌検査室 遺伝子検査室・オートクレーブ・検尿・採血） 健診センター（診察室・操作室・器材室・眼底聴覚検査室・エコー室 心電図室・X線TV・X線一般・男女更衣室・ラウンジ室 SS・スタッフ室） 産婦人科（診察室・内診室・指導室・エコー室・SS） 脳神経外科（診察室・処置室）、消化器内科（診察室・処置室） 小児科（診察室・処置室・授乳室・感染症診察室・感染待合室） 外来予備室（診察室・処置室）、SS、スタッフ室			
	1階	救急処置室、点滴室、CT、MRI、X線一般撮影、当直室 X線TV、マンモ・骨密、地域医療連携室、相談室、入院相談室 内科（診察室・処置室）、外科（診察室・処置室） 整形外科（診察室・処置室）、放射線科（診察室・処置室） 薬局、医事課、授乳室、防災センター、売店、各スタッフ室		駐車場	158台 (地上8台) (地下1階69台) (地下2階81台)
	B1階	職員食堂、職員食堂厨房、ゴミ庫、洗浄室、盛付・トイック、冷却室 チルド庫、調理室、準備室、下処理室、チルドカート室、事務室 冷凍室、冷蔵室、食品庫、検収室、休憩室、薬品庫、倉庫 機器室、備蓄倉庫、一般ゴミ庫、感染ゴミ庫、産廃庫		駐輪場	21台
	B2階	中央材料室（回収室、洗浄室、組立・滅菌室、保管・供給室、払出し室 剖検室、霊安室、遺族控室、標本室、業者控室、記録室 SPD室、荷捌室、清潔リネン庫、不潔リネン庫、事務室		バイク置場	17台

(4) パース・施設配置図・各階平面図・立面図・断面図・配置計画・平面計
 画・立面断面計画・景観色彩計画（別紙1）

(3) 各階配置計画

生駒市立病院配置表

商業地域 31m 高度地区、建ぺい/容積 = 80/400
 延床面積 28,094.34㎡(8,498.54坪)
 敷地面積 5,500.03㎡(1,663.76坪)

病 院	7階	院内保育室、講堂・交流センター、蓄電池室、電気室、屋上庭園	申請病床	
	6階	院長室、医局、看護部長室、看護部、総務課、病診連携室、図書室、会議室、サーバー室、診療情報管理室、倉庫、当直室、男女更衣室、将来対応スペース	西	東
	5階	西病棟(4人室9室、個室12室、特別個室1室、観察室1室) 東病棟(4人室9室、個室12室、特別個室1室、観察室1室) 処置室、病棟薬局、器材庫、相談室、相談室、当直室、特殊浴室	52	52
	4階	産婦人科病棟(4人室2室、個室10室、LDR室2室、診察室、分娩室、陣痛室、新生児室、授乳搾乳室、沐浴室) 小児科病棟(4人室4室、個室4室、プレイルーム) 一般病棟(4人室10室、個室16室) 観察室、処置室、病棟薬局、当直室、相談室、倉庫	48	51
	3階	手術室(3室、将来対応スペース)、麻酔科医局、ME室、洗浄室、展開室、OPE器材庫、CAG室、器具庫、操作室、リカバリー室 将来対応スペース(CAG) ICU(ICU器材庫、当直室、家族説明室、倉庫) デイサージャリー(ナースステーション、待合、リカバリー室) リハビリテーション室、言語訓練室、化学療法室	7	0
	2階	診察室、処置室、待合(産婦人科、脳神経外科、循環器内科、腎臓泌尿器科) 小児科(感染待合、感染診察室、授乳室、プレイコーナー) 人工透析(透析室、ラウンジ、更衣室、ナースステーション、器材庫) 内視鏡センター(内視鏡室、リカバリー室、ナースステーション、更衣室) 検体検査室(細菌検査室、切出室、保存庫、器材庫、スタッフルーム) 健診センター(受付、診察室、ラウンジ、器材庫)	210	
	1階	診察室、処置室(内科、消化器内科、外科、整形外科、形成外科) 筋電図室、脳波室、検査室(肺機能、眼底、聴覚)、心電図室、エコー室、負荷心電図室、採血室、中央待合、外来待合 救急処置室、点滴室、感染診察室、感染待合、ナースステーション、家族待合、診察室、処置室、MRI、CT、一般撮影、X線TV、読影室、医事課、薬局、地域医療連携室、相談室、売店、防災センター		
	B1階	厨房(調理室、下処理室、洗浄室、配膳車プール、食品庫、検収室)、職員食堂・厨房、薬品庫、DI室、製剤室、倉庫、一般ゴミ庫、感染ゴミ庫、蓋安室、遺族控室、備蓄倉庫		
B2階	中央材料室(回収室、洗浄室、組立・滅菌室、保管室、払出し室) SPD室、清潔・不潔リネン庫、備蓄倉庫、将来対応スペース(リニアック室)			

駐車場 150台(地上7台・地下1階67台・地下2階76台)

駐輪場 21台

バイク置場 27台

(4) 施設配置図・各階平面図・立面図・断面図(別紙1)

施設整備費に係る収支予測の試算ベース

(請負率65%)

1 施設整備費について

(単位 千円)

主な経費	金額	消費税抜き(事務費除)	備考
病院用地造成費	49,170	46,828	契約金額を計上
設計監理費	89,408	85,150	病院事業会計立上げ前に一般会計から執行した基本設計料27,300千円は除く。
実施設計料	57,068	54,350	契約金額を計上。ただし、開発許可申請業務2,664千円を含む。
工事監理料	23,572	22,450	契約金額を計上
追加地質調査委託料	8,768	8,350	契約金額を計上
建築工事費	5,351,000	5,097,000	概算工事費(8,232,000千円)×請負率65%
事務費	70,563	70,563	H22~26年度資本的事務費(人件費65,237千円含む)(内起債対象33,400千円)
医療機器等購入費	0	0	指定管理者側の負担のため計上せず。
合計	5,560,141	5,299,541	

260,600 (施設整備費に係る仮払消費税額総額)

※減価償却費

(単位 千円)

項目	減価償却対象価格	耐用年数及び残存価格	15年目までの年間償却額
病院建物	5,299,541	(造成工事費+設計監理料+建築工事費+事務費)	232,779
建物本体(55%)	2,939,578	(建物本体金額-残存価格(10%))×償却率0.035(耐用年数29年)	92,597
付帯施設(45%)	2,359,963	(付帯施設金額-残存価格(10%))×償却率0.066(耐用年数15年)	140,182

※建物本体及び付帯施設の割合は、建築工事費を按分した割合によるが、病院用地造成費及び地質調査委託料は当該割合に関わらず全額建物本体に含めて算定

2 病院事業施設整備(初期投資分)に係る普通交付税算入について

(単位 千円)

企業債の元利償還金額(千円未満端数切上処理)	交付税算入額(千円未満端数切捨処理)		
元利償還金総額	5,729,721	1,289,187	企業債の元利償還金×1/2×0.45(措置率)
平成26年度開院時	91,240	20,529	"
平成29年度フルオープン時	644,683	145,054	"
最高償還金額(平成28年度)	649,074	146,042	"

※企業債借入金総額 5,520,100 (病院用地造成費+設計監理費+建築工事費+起債対象事務費(人件費含む。))

※各経費10万円未満切捨て ※設計監理費のうち開発許可申請業務を除く。

※企業債借入条件

民間資金を活用(元金均等償還)

借入対象	据置期間(年)	償還期間(年)	年利(%)
建築工事費等	1	10	0.7

※ ただし、病院用地造成費等、既に企業債を借り入れている費用については、実際の借入れ年利で計算している。

3 病院事業運営に係る交付税算入について

(単位 千円)

事業運営に係る交付税の種類(H23年度ベース)	交付税算入額	算定根拠
普通交付税	病床割	149,520 210床×712千円
	救急告示病院	41,385 1,697千円/床+固定経費32,900千円/病院(救急専用病床5床)
特別交付税	小児医療病床	29,300 1,465千円/床×20床として算定
	小児救急医療提供病院	21,613 1病院あたり 21,613千円
合計	241,818	

施設整備費に係る収支予測の試算ベース

(請負率75%)

1 施設整備費について

(単位 千円)

主な経費	金額	消費税抜き(事務費除)	備考
病院用地造成費	49,170	46,828	契約金額を計上
設計監理費	89,408	85,150	病院事業会計立上げ前に一般会計から執行した基本設計料27,300千円は除く。
実施設計料	57,068	54,350	契約金額を計上。ただし、開発許可申請業務2,664千円を含む。
工事監理料	23,572	22,450	契約金額を計上
追加地質調査委託料	8,768	8,350	契約金額を計上
建築工事費	6,174,000	5,880,000	概算工事費(8,232,000千円)×請負率75%
事務費	70,563	70,563	H22~26年度資本的事務費(人件費65,237千円含む)(内起債対象33,400千円)
医療機器等購入費	0	0	指定管理者側の負担のため計上せず。
合計	6,383,141	6,082,541	

300,600 (施設整備費に係る仮払消費税額総額)

※減価償却費

(単位 千円)

項目	減価償却対象価格	耐用年数及び残存価格	15年目までの年間償却額
病院建物	6,082,541	(造成工事費+設計監理料+建築工事費+事務費)	267,273
建物本体(55%)	3,370,228	(建物本体金額-残存価格(10%))×償却率0.035(耐用年数29年)	106,162
付帯施設(45%)	2,712,313	(付帯施設金額-残存価格(10%))×償却率0.066(耐用年数15年)	161,111

※建物本体及び付帯施設の割合は、建築工事費を按分した割合によるが、病院用地造成費及び地質調査委託料は当該割合に関わらず全額建物本体に含めて算定

2 病院事業施設整備(初期投資分)に係る普通交付税算入について

(単位 千円)

企業債の元利償還金額(千円未満端数切上処理)	交付税算入額(千円未満端数切捨処理)		
元利償還金総額	6,583,993	1,481,398	企業債の元利償還金×1/2×0.45(措置率)
平成26年度開院時	103,232	23,227	〃
平成29年度フルオープン時	740,826	166,686	〃
最高償還金額(平成28年度)	745,873	167,821	〃

※企業債借入金総額 6,343,100 (病院用地造成費+設計監理費+建築工事費+起債対象事務費(人件費含む。))

※各経費10万円未満切捨て ※設計監理費のうち開発許可申請業務を除く。

※企業債借入条件

民間資金を活用(元金均等償還)

借入対象	据置期間(年)	償還期間(年)	年利(%)
建築工事費等	1	10	0.7

※ただし、病院用地造成費等、既に企業債を借り入れている費用については、実際の借入れ年利で計算している。

3 病院事業運営に係る交付税算入について

(単位 千円)

事業運営に係る交付税の種類(H23年度ベース)	交付税算入額	算定根拠
普通交付税	病床割	149,520 210床×712千円
	救急告示病院	41,385 1,697千円/床+固定経費32,900千円/病院(救急専用病床5床)
特別交付税	小児医療病床	29,300 1,465千円/床×20床として算定
	小児救急医療提供病院	21,613 1病院あたり 21,613千円
合計	241,818	

施設整備に係る収支予測の試算ベース

(請負率85%)

1 施設整備費について

(単位 千円)

主な経費	金額	消費税抜き(事務費除)	備考
病院用地造成費	49,170	46,828	契約金額を計上
設計監理費	89,408	85,150	病院事業会計立上げ前に一般会計から執行した基本設計料27,300千円は除く。
実施設計料	57,068	54,350	契約金額を計上。ただし、開発許可申請業務2,664千円を含む。
工事監理料	23,572	22,450	契約金額を計上
追加地質調査委託料	8,768	8,350	契約金額を計上
建築工事費	6,997,000	6,664,000	概算工事費(8,232,000千円)×請負率85%
事務費	70,563	70,563	H22~26年度資本的事務費(人件費65,237千円含む)(内起債対象33,400千円)
医療機器等購入費	0	0	指定管理者側の負担のため計上せず。
合計	7,206,141	6,866,541	

339,600 (施設整備費に係る仮払消費税額総額)

※減価償却費

(単位 千円)

項目	減価償却対象価格	耐用年数及び残存価格	15年目までの年間償却額
病院建物	6,866,541	(造成工事費+設計監理料+建築工事費+事務費)	301,813
建物本体(55%)	3,801,428	(建物本体金額-残存価格(10%))×償却率0.035(耐用年数29年)	119,745
付帯施設(45%)	3,065,113	(付帯施設金額-残存価格(10%))×償却率0.066(耐用年数15年)	182,068

※建物本体及び付帯施設の割合は、建築工事費を按分した割合によるが、病院用地造成費及び地質調査委託料は当該割合に関わらず全額建物本体に含めて算定

2 病院事業施設整備(初期投資分)に係る普通交付税算入について

(単位 千円)

企業債の元利償還金額(千円未満端数切上処理)		交付税算入額(千円未満端数切捨処理)	
元利償還金総額	7,438,265	1,673,610	企業債の元利償還金×1/2×0.45(措置率)
平成26年度開院時	115,224	25,925	〃
平成29年度フルオープン時	836,969	188,318	〃
最高償還金額(平成28年度)	842,672	189,601	〃

※企業債借入金総額 7,166,100 (病院用地造成費+設計監理費+建築工事費+起債対象事務費(人件費含む。))

※各経費10万円未満切捨 ※設計監理費のうち開発許可申請業務を除く。

※企業債借入条件

民間資金を活用(元金均等償還)

借入対象	据置期間(年)	償還期間(年)	年利(%)
建築工事費等	1	10	0.7

※ただし、病院用地造成費等、既に企業債を借り入れている費用については、実際の借入れ年利で計算している。

3 病院事業運営に係る交付税算入について

(単位 千円)

事業運営に係る交付税の種類(H23年度ベース)	交付税算入額	算定根拠
普通交付税	病床割	149,520 210床×712千円
	救急告示病院	41,385 1,697千円/床+固定経費32,900千円/病院(救急専用病床5床)
特別交付税	小児医療病床	29,300 1,465千円/床×20床として算定
	小児救急医療提供病院	21,613 1病院あたり 21,613千円
合計	241,818	

施設整備費に係る収支予測の試算ベース

1 施設整備費について

(単位 千円)

主な経費	金額	消費税抜き	備考
病院用地造成費	54,518	51,922	契約金額を計上
設計監理費	94,213	89,622	病院事業会計立上げ前に一般会計から執行した基本設計料27,300千円は除く。
実施設計料	70,640	67,172	契約金額を計上。ただし、開発許可申請業務2,664千円を含む。
工事監理料	23,573	22,450	契約金額を計上
その他委託料	14,466	13,757	契約金額を計上
建築工事費	8,682,852	8,266,900	契約金額を計上
事務費	75,855	75,615	H22～26年度資本的事務費(人件費69,579千円を含む)
医療機器等購入費	0	0	指定管理者側の負担のため計上せず。
合計	8,921,904	8,497,816	

424,088 (施設整備費に係る仮払消費税総額)

※減価償却費

(単位 千円)

項目(耐用年数)	減価償却対象価格	算定式	年間償却額	指定管理者負担金額
病院建物	8,497,816	(病院用地造成費+設計監理料+その他委託料+建築工事費+事務費)	382,233	264,952
建物本体(29年)	4,894,621	(建物本体金額-残存価格(10%))×償却率0.035(耐用年数29年)	154,180	154,180
附属設備(17年)	139,723	(附属設備金額-残存価格(10%))×償却率0.058(耐用年数17年)	7,294	4,276
附属設備(15年)	3,189,423	(附属設備金額-残存価格(10%))×償却率0.066(耐用年数15年)	189,452	97,992
附属設備(8年)	261,123	(附属設備金額-残存価格(10%))×償却率0.125(耐用年数8年)	29,376	8,104
附属設備(6年)	12,926	(附属設備金額-残存価格(10%))×償却率0.166(耐用年数6年)	1,931	400

※指定管理者負担金額の計算式:(附属設備金額-残存価格)×償却率×耐用年数÷建物本体の耐用年数

2 病院事業施設整備(初期投資分)に係る普通交付税算入について

(単位 千円)

企業債の元利償還金額		交付税算入額	
元利償還金総額	9,036,437	2,229,399	
通常分	8,322,979	1,872,670	企業債の元利償還金×1/2×0.45(措置率)
災害拠点施設	713,458	356,729	企業債の元利償還金×0.5(措置率)

※企業債借入条件

借入対象	据置期間(年)	償還期間(年)	年利(%)
建築工事費等	1	10	0.255~0.710

※据置期間は平成27年6月借入分のみ1年未満

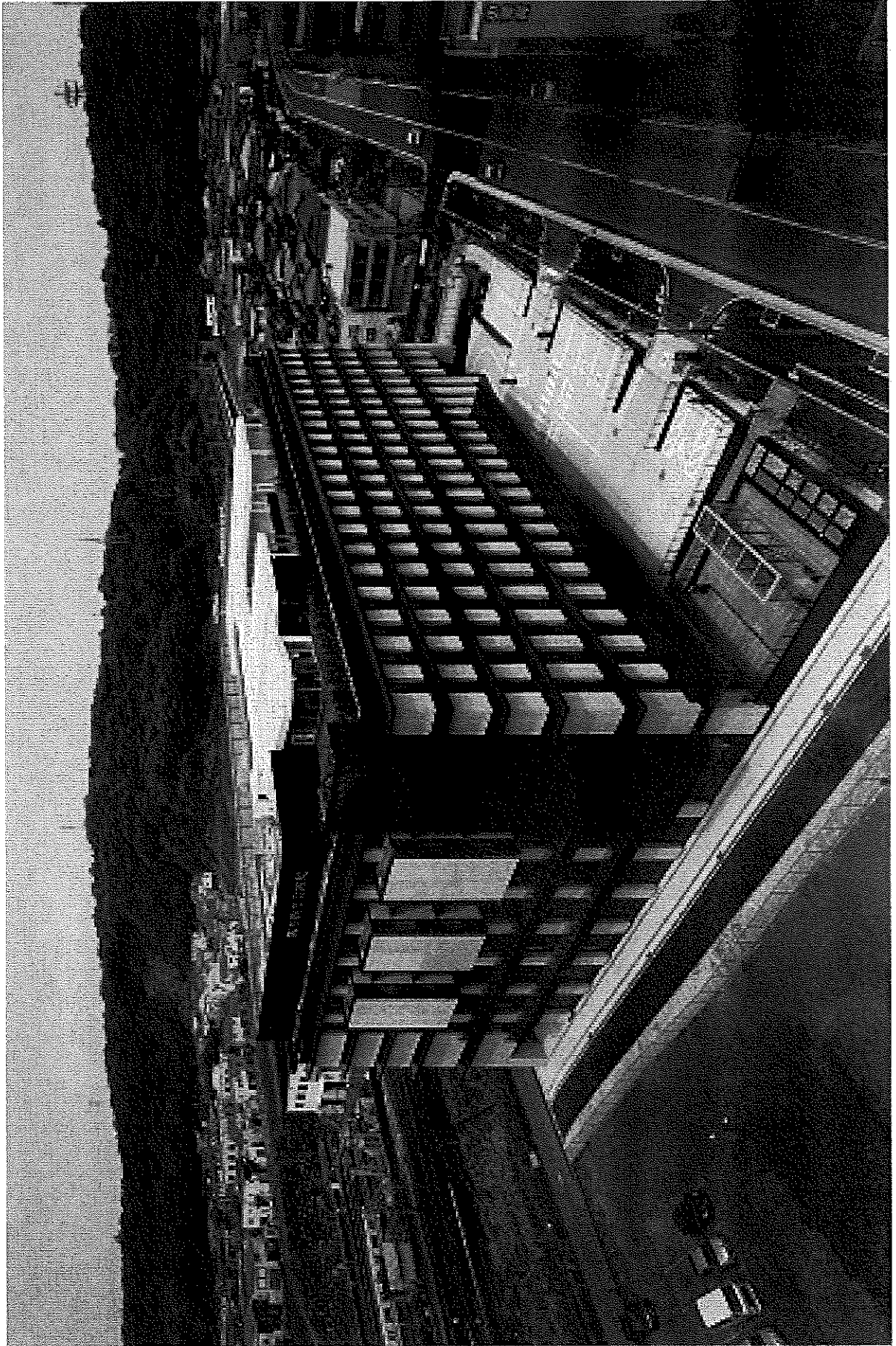
3 病院事業運営に係る交付税算入について

(単位 千円)

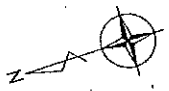
事業運営に係る交付税の種類(平成26年度単価)	交付税算入額	算定根拠	
普通交付税	病床割(平成27年度単価)	147,840	210床×704千円 ※H28年32床、H29年190床、H30年～210床の想定
	救急告示病院	41,385	1,697千円/床+固定経費32,900千円/病院 (救急専用病床5床)
特別交付税	小児医療病床	23,740	1,187千円/床×20床 ※H28年4床、H29年10床、H30～20床の想定
	小児救急医療提供病院	10,634	1病院あたり 10,634千円
合計	223,599		

別紙 1

- 写真
- 施設配置図
- 各階平面図
- 立面図
- 断面図
- 配置計画
- 平面計画
- 立面断面計画
- 景觀色彩計画



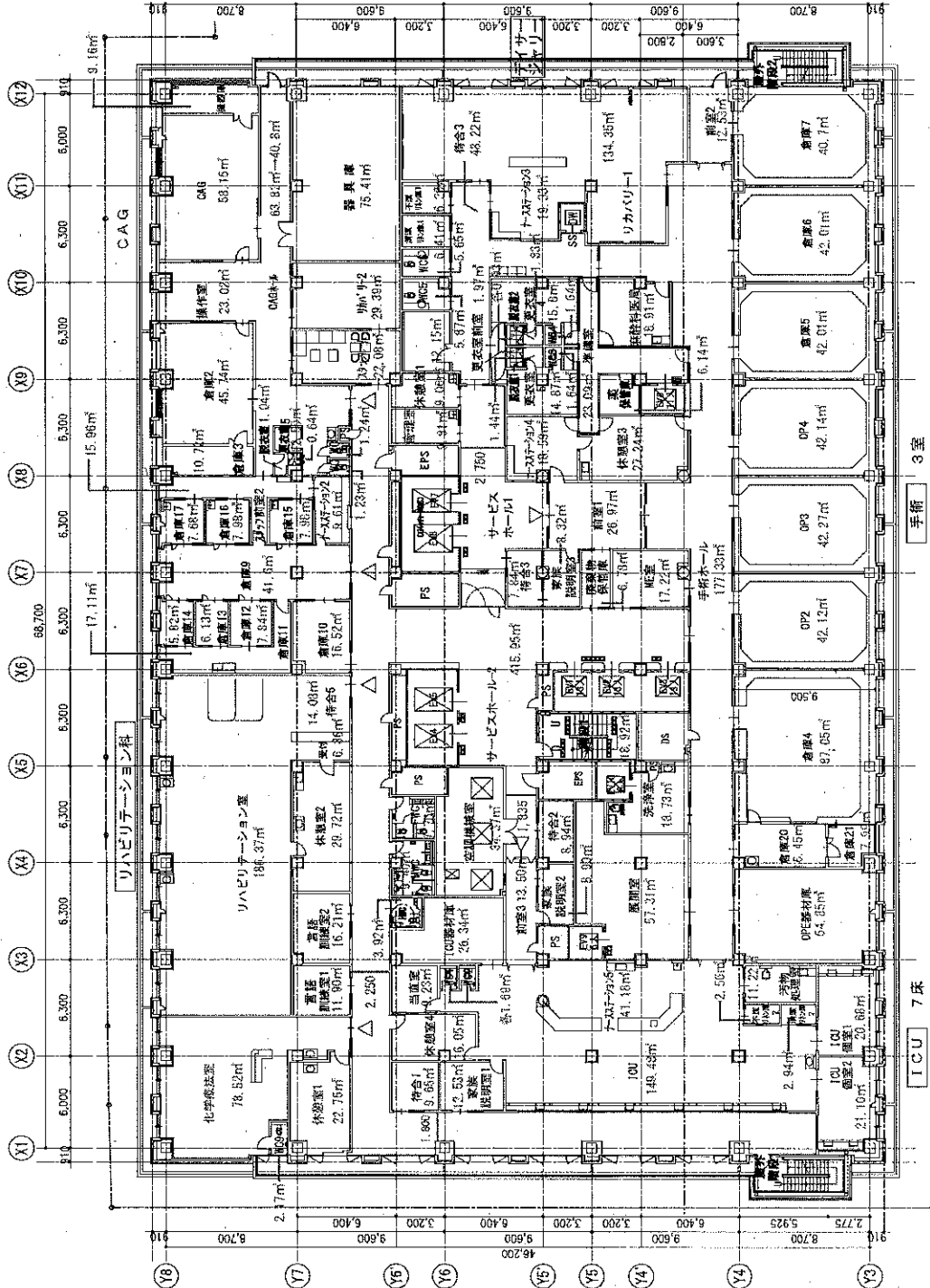
改定前



2階平面図

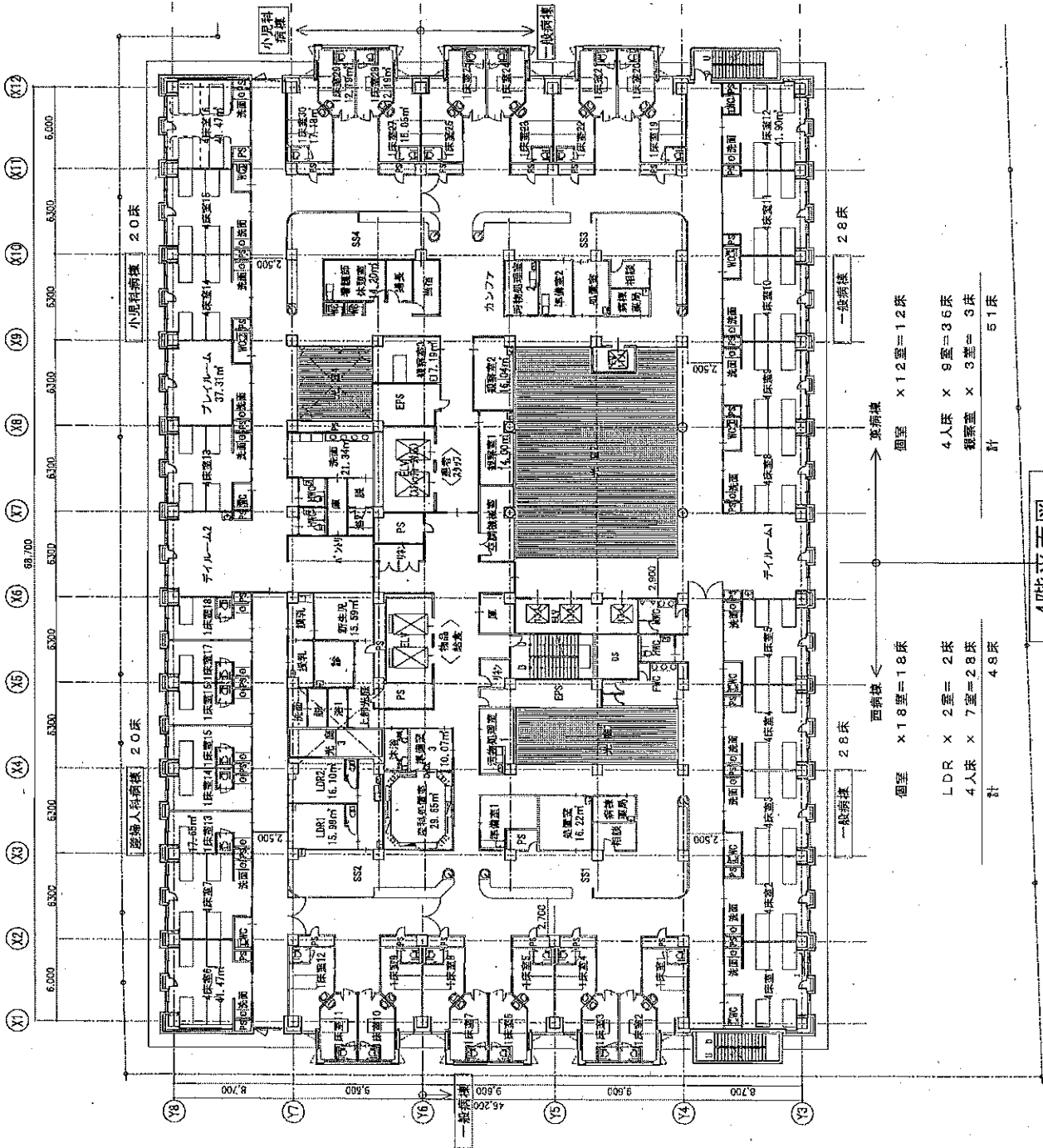
 株式会社 石本建築事務所 Shimizu Architectural & Engineering Firm, Inc.	図面番号 10510508 2/11	設計者 2012.05.24 2/11	監理者 2012.05.24 2/11	建築士 1:300 (C)
--	--------------------------	---------------------------	---------------------------	------------------

改定後



設計者	一級建築士
監理者	一級建築士
設計者	104-08-01
監理者	1:150 (A1)
縮尺	1:300 (A2)
縮尺	1:300 (A3)
縮尺	1:300 (A4)
縮尺	1:300 (A5)
縮尺	1:300 (A6)
縮尺	1:300 (A7)
縮尺	1:300 (A8)
縮尺	1:300 (A9)
縮尺	1:300 (A10)
縮尺	1:300 (A11)
縮尺	1:300 (A12)
縮尺	1:300 (A13)
縮尺	1:300 (A14)
縮尺	1:300 (A15)
縮尺	1:300 (A16)
縮尺	1:300 (A17)
縮尺	1:300 (A18)
縮尺	1:300 (A19)
縮尺	1:300 (A20)
縮尺	1:300 (A21)
縮尺	1:300 (A22)
縮尺	1:300 (A23)
縮尺	1:300 (A24)
縮尺	1:300 (A25)
縮尺	1:300 (A26)
縮尺	1:300 (A27)
縮尺	1:300 (A28)
縮尺	1:300 (A29)
縮尺	1:300 (A30)
縮尺	1:300 (A31)
縮尺	1:300 (A32)
縮尺	1:300 (A33)
縮尺	1:300 (A34)
縮尺	1:300 (A35)
縮尺	1:300 (A36)
縮尺	1:300 (A37)
縮尺	1:300 (A38)
縮尺	1:300 (A39)
縮尺	1:300 (A40)
縮尺	1:300 (A41)
縮尺	1:300 (A42)
縮尺	1:300 (A43)
縮尺	1:300 (A44)
縮尺	1:300 (A45)
縮尺	1:300 (A46)
縮尺	1:300 (A47)
縮尺	1:300 (A48)
縮尺	1:300 (A49)
縮尺	1:300 (A50)
縮尺	1:300 (A51)
縮尺	1:300 (A52)
縮尺	1:300 (A53)
縮尺	1:300 (A54)
縮尺	1:300 (A55)
縮尺	1:300 (A56)
縮尺	1:300 (A57)
縮尺	1:300 (A58)
縮尺	1:300 (A59)
縮尺	1:300 (A60)
縮尺	1:300 (A61)
縮尺	1:300 (A62)
縮尺	1:300 (A63)
縮尺	1:300 (A64)
縮尺	1:300 (A65)
縮尺	1:300 (A66)
縮尺	1:300 (A67)
縮尺	1:300 (A68)
縮尺	1:300 (A69)
縮尺	1:300 (A70)
縮尺	1:300 (A71)
縮尺	1:300 (A72)
縮尺	1:300 (A73)
縮尺	1:300 (A74)
縮尺	1:300 (A75)
縮尺	1:300 (A76)
縮尺	1:300 (A77)
縮尺	1:300 (A78)
縮尺	1:300 (A79)
縮尺	1:300 (A80)
縮尺	1:300 (A81)
縮尺	1:300 (A82)
縮尺	1:300 (A83)
縮尺	1:300 (A84)
縮尺	1:300 (A85)
縮尺	1:300 (A86)
縮尺	1:300 (A87)
縮尺	1:300 (A88)
縮尺	1:300 (A89)
縮尺	1:300 (A90)
縮尺	1:300 (A91)
縮尺	1:300 (A92)
縮尺	1:300 (A93)
縮尺	1:300 (A94)
縮尺	1:300 (A95)
縮尺	1:300 (A96)
縮尺	1:300 (A97)
縮尺	1:300 (A98)
縮尺	1:300 (A99)
縮尺	1:300 (A100)

改定前



西線 ← 東線

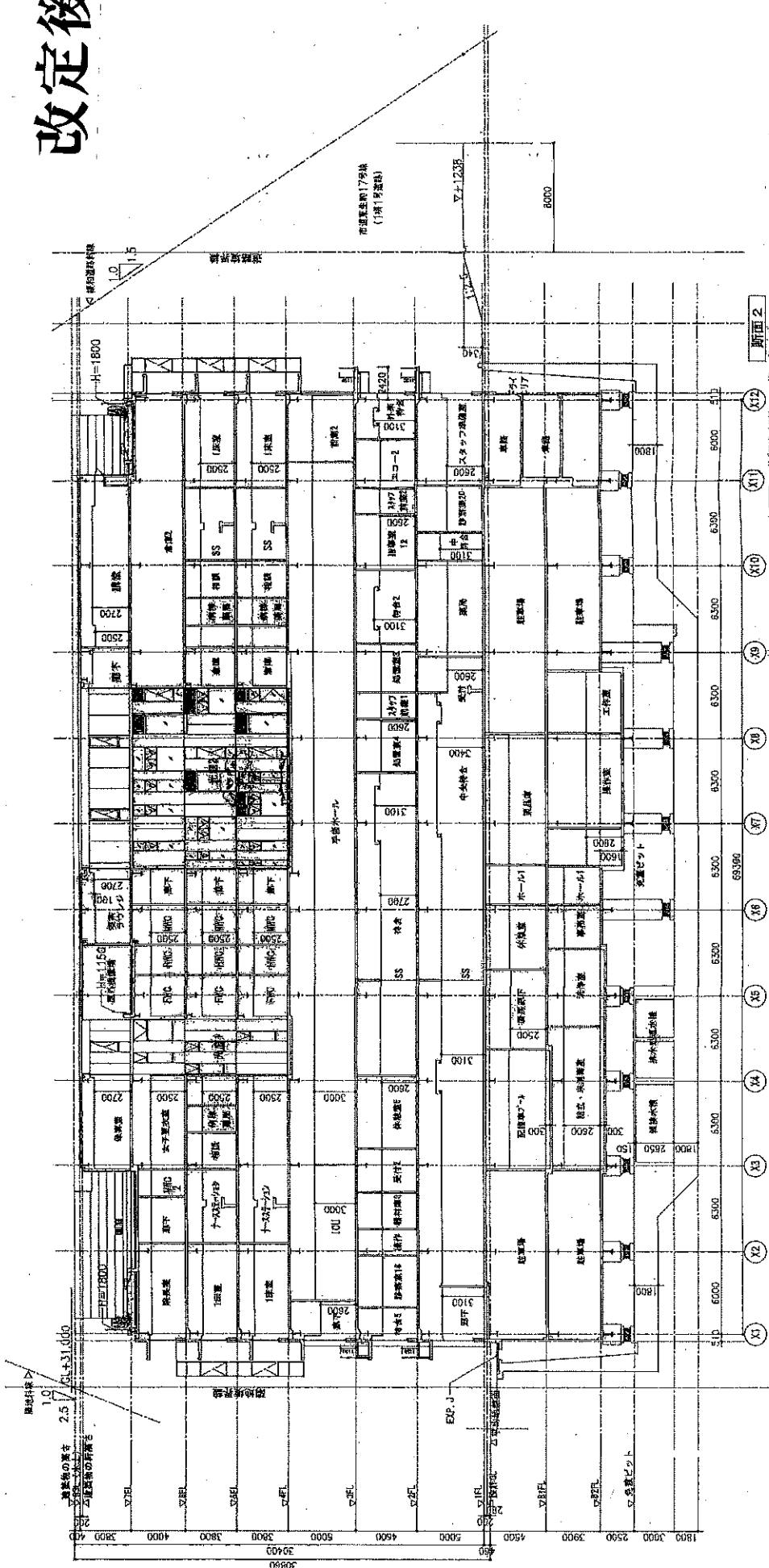
個室 × 18室 = 18床
LDR × 2室 = 2床
4人床 × 7室 = 28床
計 48床

個室 × 12室 = 12床
4人床 × 9室 = 36床
観察室 × 3室 = 3床
計 51床

4階平面図

<p>建築士 一級建築士 事務所 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 電話 03-5515-009 FAX 03-5515-010</p>	<p>設計者 生野市立病院建設工学部設計 105-00-01 面積 1,300 (A3)</p>	<p>設計者 2012.05.24 7/14 2012.05.24 7/14</p>	<p>設計者 2012.05.24 7/14</p>	<p>設計者 2012.05.24 7/14</p>
---	--	--	------------------------------------	------------------------------------

改定後



改定前

配置計画

(1) 計画方針

- ① 周辺建物間の距離等の環境の調和。(圧迫感の配慮から位置を北西に)
- ② 真朝への日影をできるだけ最小限に抑える。(建物位置を北西に寄せる)
- ③ 歩車分離の動線計画。
- ④ 駐車台数の確保。(地階スペースを最大限活用)
- ⑤ 周辺状況に配慮した緊急車両の進入路確保。
- ⑥ 敷地内での動線交差を最小限にとどめる。(敷地内一方通行)
- ⑦ バリアフリーへの配慮。(誘導ブロック敷設、段差を少なく)

(2) 周辺との関係と動線処理

- ① 歩行者
南側市道大谷線の歩道の正面玄関に近い位置から直進して建物内部へ至る明確な動線をとる。安全面に配慮し、敷地内の歩車分離を考慮した動線とした。

- ② 一般車両
一般車両の出入口は市道大谷線側に設置。入口と出口は分離し、敷地内を主に一方通行とすることで明確で安全な動線とする。正面の車路は幅8mを確保します。
入口より進入し、正面玄関前の二車線は地下駐車場もしくは地上駐車場へ。建物側の一車線は送迎のみ停車可とする。地下駐車場より出てきた一般車両は南び市道大谷線へ。
車椅子用駐車場は入口車路の左側に確保した。

- ③ 緊急車両
救急車は、近隣住民への影響を極力少なくする配慮から、西側の共用宅内通路を通行に利用し、緊急車両と一般車両の交差をできるだけ最小限に抑える。

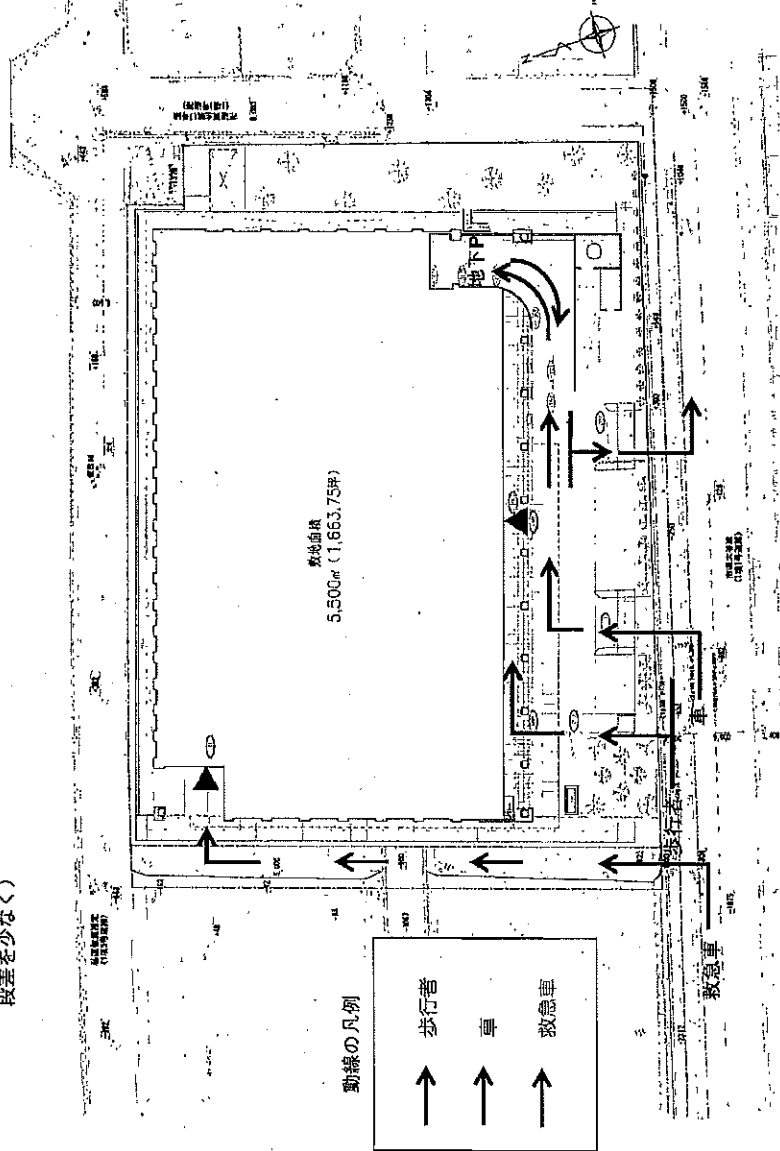
- ④ タクシー車
タクシーは一般車両と同様の動線。待機場は送迎の車線と兼ねるが、多くは停車できない。駅前のタクシー乗場から近いこともあるため、電話での呼び出しとするなど、今後運営上で配慮していく。

- ⑤ バイク・自転車
西側に駐輪場21台、バイク置場27台を設置。

- ⑥ 業務車両
屋外においては、医療ガスボンベ車・タンクローリー車が週に数台、同業側に停車する。
一般廃棄物回収車は、地下駐車場内で作業を行う。動線は一般車両と同様。

- ⑦ 留意事項
西側の宅内通路は、隣地事業者と共に、隣地境界を中心に幅6mで設ける予定である。利用用途などについては関係事業者と確定させる必要がある。

※正面車路実例



(仮称) 生駒市立病院 新築工事

配置計画

配置計画

(1) 計画方針

- ① 周辺建物間の距離等の環境の調和。(压迫感の配慮から位置を北西に)
- ② 東側への日影をできるだけ最小限に抑える。(建物位置を北西に寄せる)
- ③ 歩車分離の動線計画。
- ④ 駐車台数の確保。(階層スペースを最大限活用)
- ⑤ 周辺状況に配慮した緊急車両の進入路確保。
- ⑥ 敷地内での動線交差を最小限にとどめる。(敷地内一方通行)
- ⑦ バリアフリーへの配慮。(誘導ブロック敷設、段差を少なく)

(2) 周辺との関係と動線処理

① 歩行者

南側市道大谷線の歩道の正面玄関に近い位置から直進して建物内部へ至る明確な動線をとる。安全面に配慮し、敷地内の歩車分離を考慮した動線とした。

改定後

② 一般車両

一般車両の出入口は市道大谷線側に設置。入口と出口は分離し、敷地内を主に一方通行とすることで明確で安全な動線とする。正面の車路は幅8mを確保します。

入口より進入し、正面玄関前の二車線は地下駐車場もしくは地上駐車場へ。建物側の一車線は送迎のみ停車可とする。地下駐車場より出てきた一般車両は再び市道大谷線へ。
車椅子用駐車場は入口車路の左側に確保した。

③ 緊急車両

救急車は、近隣住民への影響を極力少なくする配慮から、西側の共用宅内通路を通行に利用し、緊急車両と一般車両の交差をできるだけ最小限に抑える。

④ タクシー車

タクシーは一般車両と同様の動線。待機場は送迎の車線と兼ねるが、多くは停車できない。駅前のタクシー乗場から近いこともあるため、電話での呼び出しとすなど、今後運営上で配慮していく。

⑤ バイク・自転車

西側に駐輪場21台、バイク置場27台を設置。

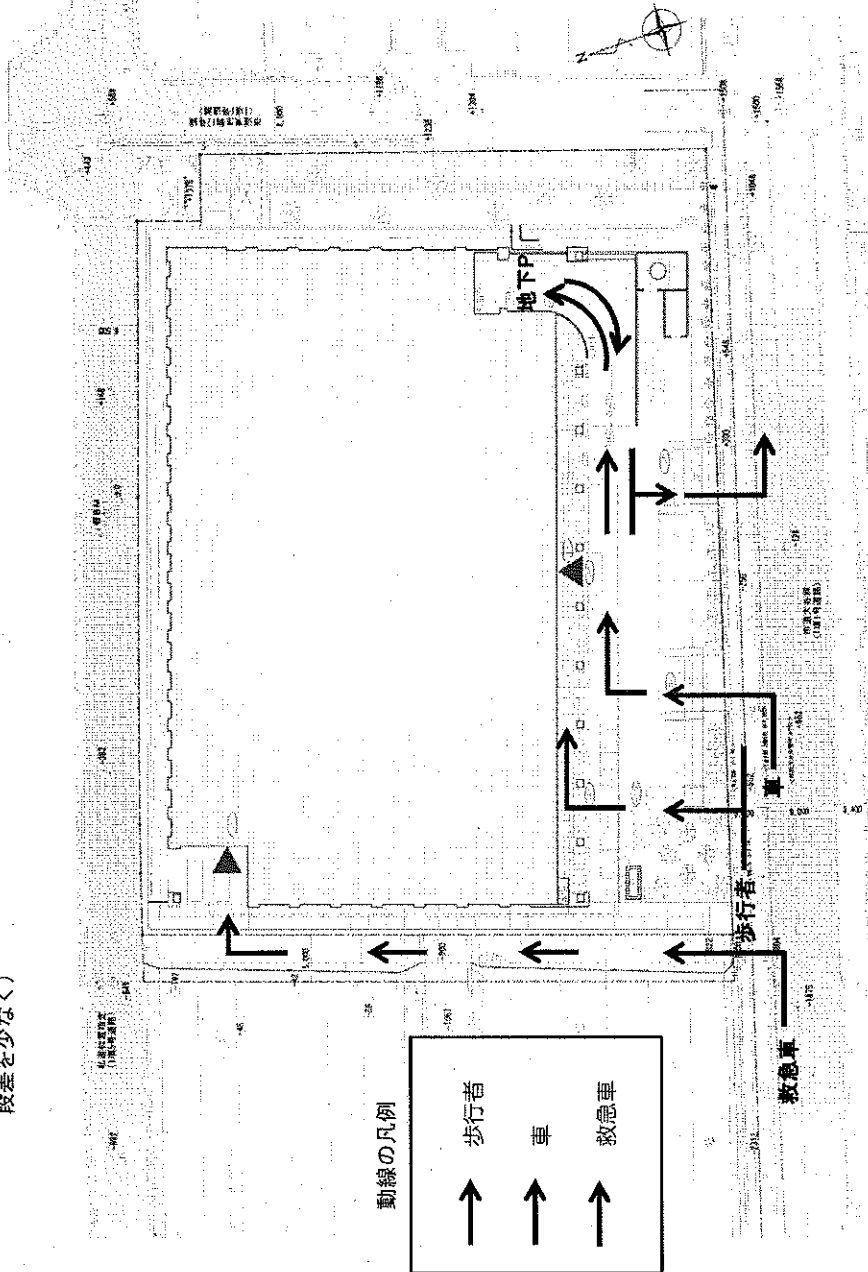
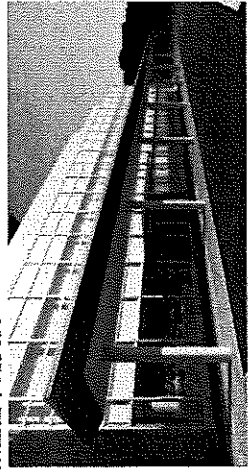
⑥ 業務車両

屋外においては、医療ガスボンベ車・タンクローリー車が週に数台、南東側に停車する。
一般廃棄物回収車は、地下駐車場で作業を行う。動線は一般車両と同様。

⑦ 留意事項

西側の宅内通路は、隣地事業者と共に、隣地境界を中心として幅6mで設ける予定である。利用用途などについては関係事業者と確定させる必要がある。

※正面車路事例



改定前

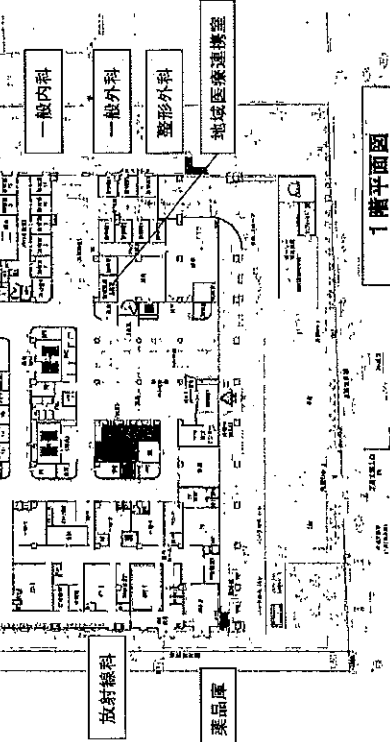
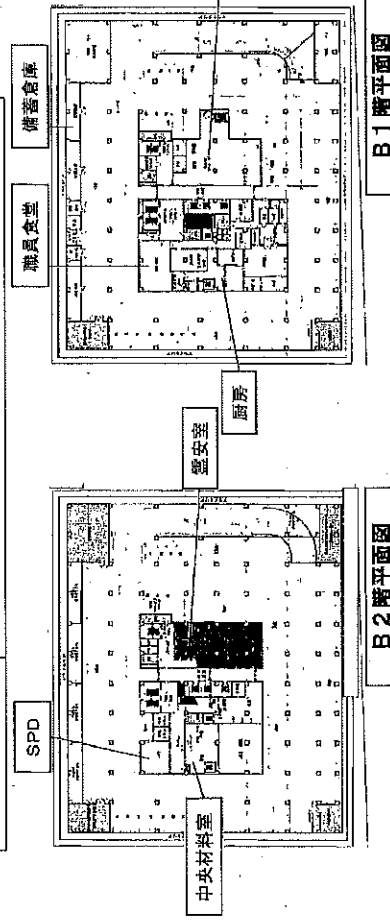
平面計画

(1) 計画方針

- ・ 外来患者や救急患者の動線を出来るだけコンパクトにまとめたゾーニングとする。
- ・ 二方向避難はもろろんだが避難が有効にいくような階段配置とする。
- ・ 救急診察室から上階への移動、階の水平移動もスムーズにいくようにする。
- ・ 入院患者のためにテイルームを設け明るく病棟とする。
- ・ OP（手術）ゾーンをしっかりと区分することにより充実した平面空間とする。
- ・ ICU（集中治療室）やDS（日帰り手術）とOP（手術）とを同階にすることで迅速に対応できるようにする。
- ・ 職員の動線に配慮し、管理部門をまとめる。

(2) 各階平面計画について

地下2階、地下1階	駐車場	敷地内全体に建物が配置されているため、駐車場は地下に多くを設ける。全て平面駐車とし、地下2階81台、地下1階69台、1階8台で計158台の駐車台数を設けた。（業務用車両の停車場を含む）
中央材料室	中央材料室	清潔・不潔の物品の縦動線を専用ELVにより明確に区分した。
霊安室	霊安室	出入がスムーズにいくような位置とし、家族控室も併設した。
厨房	厨房	毎食210人分の食事をまかなえる広さとし、地下から食品搬入し、配膳下階はEVを使用して行う。職員のアメニティー充実として職員食堂を併設した。
薬品庫	薬品庫	薬品庫内部に昇降機を設け、投薬検査室や各種薬品のSS（スナップシステム）とのやり取りをスムーズにした。
備蓄倉庫	備蓄倉庫	災害時の初期救命体制として、応急用医薬品、トリアージタッグ、簡易ベットを常備できるスペースとして設置した。



平面計画 (B2階～1階)

1階

駐車場	平面として駐車台数は8台（うち車椅子用2台）を設けた。
エントランスホール	正面玄関をガラス貼りとして、より光を採り入れることで明るく、清潔感のある空間とする。受付もわかりやすい位置とした。
外来ゾーン	外来患者の動線を一番に考え、受付等からも近い真側にゾーン配置した。中央に待合室を設けることで診察室への動線を短くした。
放射線ゾーン	外来患者への配慮から、西側のエリアに配置した。中央に操作室を設け、よりスムーズに検査が行えるように配置した。また、一般撮影室（X線撮影）3室、CT室（コンピュータ断層撮影）2室、MRI室（磁気共鳴画像診断）2室、X線TV室（X線テレビ）1室に加え、近年増え続ける乳がん検査として有効なマンモグラフィーム（乳房エックス線撮影）1室を配置した。
救急ゾーン	一般の外来患者等の動線と交差することなく、単独で対応可能とするため、北側にゾーン配置する。
地域医療部	MSW等の専任職員を配置し、地域医療機関との相互の紹介をはじめ診療情報等の提供や患者等の相談窓口として配置した。

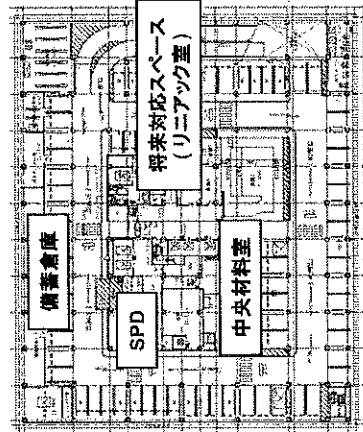
平面計画

(1) 計画方針

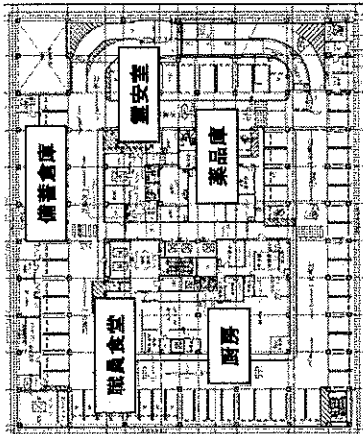
- ・ 外来患者や救急患者の動線を出来るだけコンパクトにまとめたゾーニングとする。
- ・ 二方向遊覧はもろんだが遊覧が有効にいくような階段配置とする。
- ・ 救急診察室から上階への移動、階の水平移動もスムーズにいくようにする。
- ・ 入院患者のためにダイルームを設け明るい病棟とする。
- ・ OP (手術) ソーンをしっかりと区分することでより充実した平面空間とする。
- ・ ICU (集中治療室) やDS (日帰り手術) とOP (手術) とを同階にすることで敏感に対応できるようにする。
- ・ 職員動線に配慮し、管理部門をまとめる。

(2) 各階平面計画について

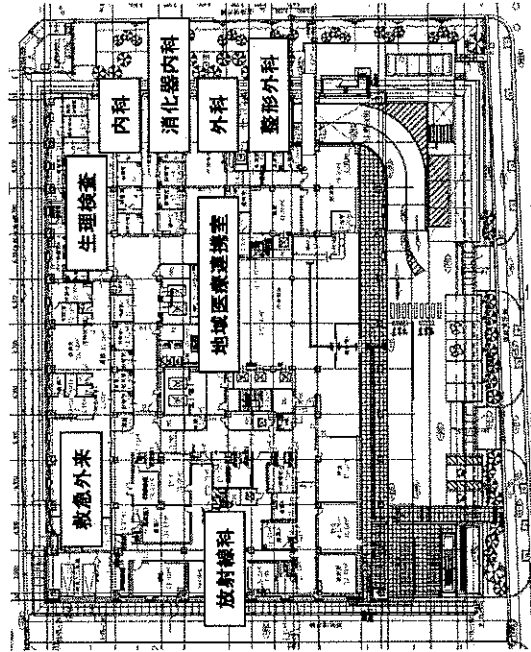
地下2階, 地下1階 駐車場	敷地内全体に建物が配置されているため、駐車場は地下に多くを設ける。全て平面駐車とし、地下2階76台、地下1階67台、1階7台で計150台の駐車台数を設けた。(業務用車両の停車場を含む)
中央材料室	清潔・不潔の物品の縦動線を専用ELVにより明確に区分した。
霊安室	出入がスムーズにいくような位置とし、家族控室も併設した。
厨房	毎食210人分の食事をまかなえる広さとし、地下から食品搬入し、配膳下階はEVを使用する。職員のアメニティー充実として職員食堂を併設した。
薬品庫	薬品庫内部に昇降機を設け、薬局や各病棟階のSS (スタッフステーション) とのやり取りをスムーズにした。
備蓄倉庫	災害時の初期救急体制として、応急用医薬品、トリアージタッグ、簡易ベットを常備できるスペースとして配置した。



B 2 階平面図



B 1 階平面図



1 階平面図

改定後

1階 駐車場	平面として駐車台数は7台 (うち車椅子用2台) を設けた。
エントランスホール	正面玄関をガラス貼りとして、より光を採り入れることで明るく、清潔感のある空間とする。受付もわかりやすい位置とした。
外来ゾーン	外来患者の動線を一番に考え、受付等からも近い裏側にゾーン配置した。中央に待合室を設けることで診察室への動線を短くした。
放射線ゾーン	外来患者への配慮から、西側のエリアに配置した。中央に操作室を設け、よりスムーズに検査が行えるように配置した。また、将来的な運用も考慮して、一般撮影室 (X線撮影) 3室、CT室 (コンピュータ断層撮影) 2室、MRI室 (磁気共鳴画像診断) 1室、X線TV室 (X線テレビ撮影) 1室に加え、近年増え続ける乳がん検査として有効なマンモグラフィーム (乳房エックス線撮影) 1室を配置する計画とした。
救急ゾーン	一般の外来患者等の動線と交差することなく、単独で対応可能とするため、北側にゾーン配置する。
地域医療部	MSW等の専任職員を配置し、地域医療機関との相互の紹介をはじめ診療情報等の提供や患者等の相談窓口として配置した。

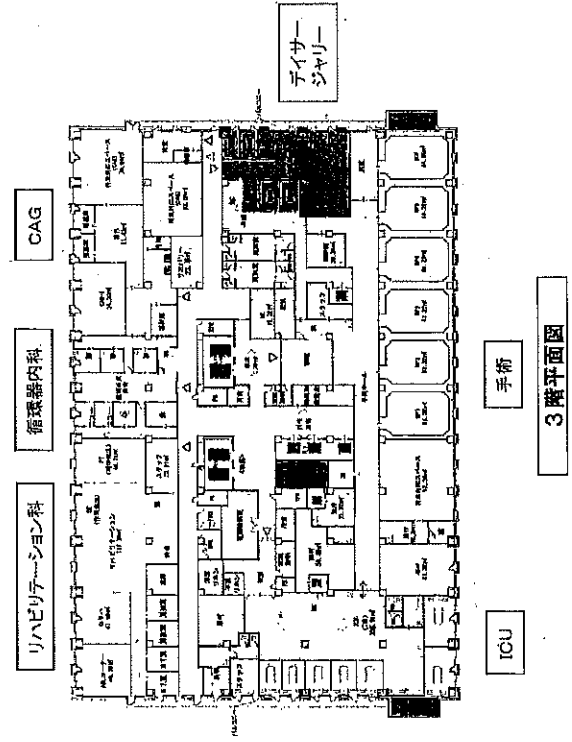
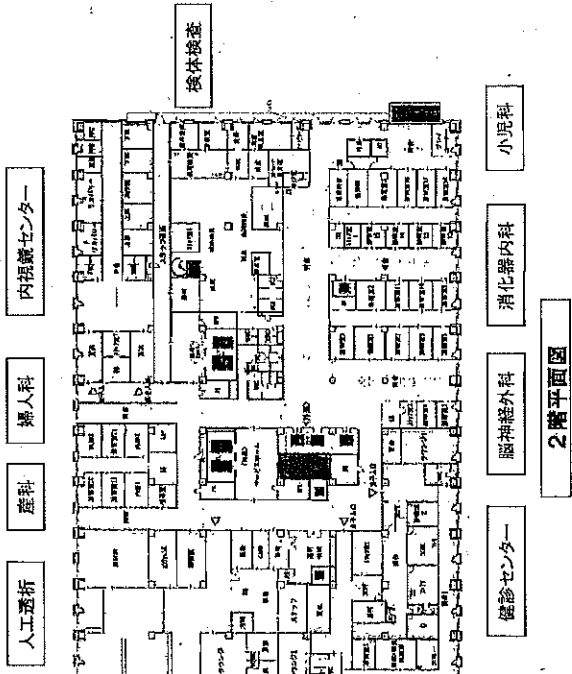
改定前

・3階

OPゾーン	OP室（手術室）は7室としてさまざまな手術や救急に備えた数とした。OPゾーンに隣接しCAG室（冠動脈造影）を設けて、より動線を短く適切な対応をできるように工夫した。避難に有効な外部階段も2ヶ所設置した。
ICU	ICU（集中治療室）は7床とし、病床以外の部分にも医療ガス等を備え、災害時や緊急時はリハビリテーションセンターと同様に簡易ベットにより対応できる空間となる。
DS	DS（日帰り手術）は、主に外科、整形外科、内科、循環器内科などの日帰り手術の術前処置及び術後回復室として、7床配置した。
リハビリテーションセンター	さまざまなリハビリを行うため、大空間が必要であり、採光を多く取り入れ、患者さんが明るい気持ちで治療に専念できるように配置した。

・2階

内視鏡センター	兼室が増大していることを考慮し、他の同規模の病院に比べ充実した広さと設備とした。
健診センター	コンパクトなつくりではあるが場所も分かりやすく、市民の健診を行えるスペースとした。
検体検査室	病理検査室、遺伝子検査室、細菌検査室を設けて機能の充実を図った。
透析センター	入院患者への対応としてベット数を10床とした。
産婦人科	1階の外来ゾーン内ではなく、独立した診察ゾーンとして産科、婦人科共にデリケートな部分にも対応する配置とした。
外来ゾーン	外来患者の動線を一番に考え、エレベーターに隣接した配置とした。小児科は懸念等の懸念もあり、独立した形で配置した。



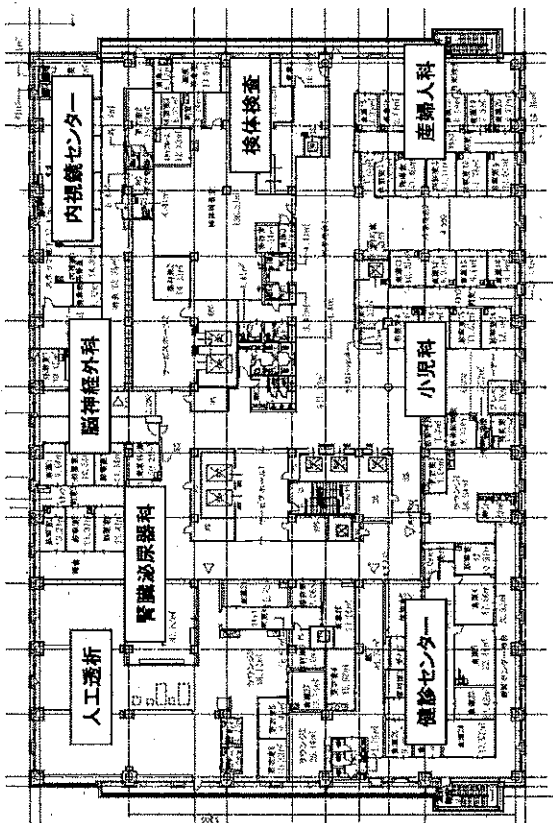
(仮称) 生駒市立病院 新築工事

平面計画 (2階～3階)

改定後

・ 2 階

- 内視鏡センター
需要が増大していることを考慮し、他の同規模の病院に比べ充実した広さと設備とした。
- 健診センター
コンパクトなつくりではあるが場所も分かりやすく、市民の健診を行えるスペースとした。
- 検体検査室
将来的な運用も考慮して、病理検査室、遺伝子検査室、細菌検査室を設けて機能を充実を図った。
- 透析センター
入院患者への対応としてベッド数を10床とした。
- 産婦人科
1階の外来ゾーン内ではなく、独立した診察ゾーンとして産科、婦人科共にデリケートな部分にも対応する配置とした。
- 外来ゾーン
外来患者の動線を一番に考え、エレベーターに隣接した配置とした。小児科は感染等の懸念もあり、エレベーターの最も近くに配置し、動線を短くした。

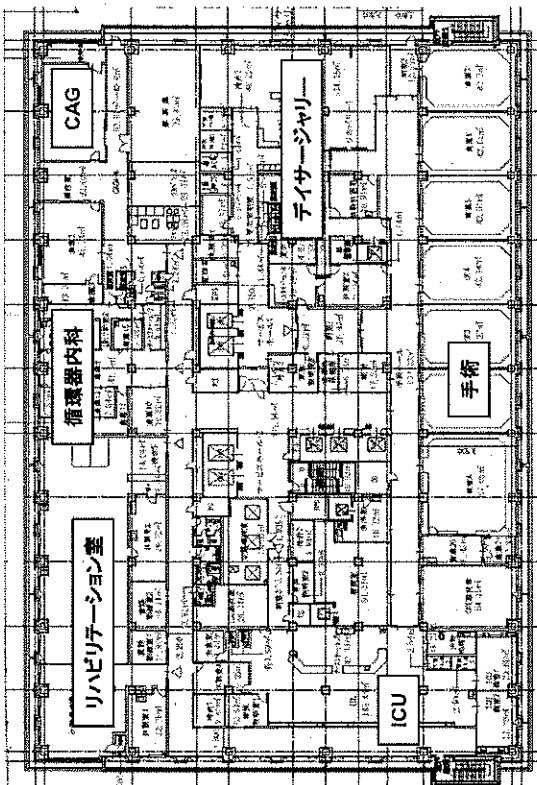


2 階平面図

生駒市立病院

・ 3 階

- OPゾーン
OP室(手術室)は7室としてさまざまな手術や救急に備えた数とした。OP室ゾーンに隣接しCAG室(冠動脈造影)を設けて、より動線を短く適切な対応をできるように工夫した。避難に有効な外部階段も2ヶ所設置した。
- ICU
ICU(集中治療室)は7床とし、病床以外の部分にも医療ガス等を備え、災害時や緊急時は簡易ベッドにより対応できる空間となる。
- DS
DS(日帰り手術)は、主に外科、整形外科、内科、循環器内科などの日帰り手術時の術前処置及び術後回復室として、7床配置した。
- リハビリテーションセンター
さまざまなリハビリを行うため、大空間が必要であり、採光を多く取り入れ、患者さんが明るい気持ちで治療に専念できるように配置した。



3 階平面図

平面計画 (2階~3階)

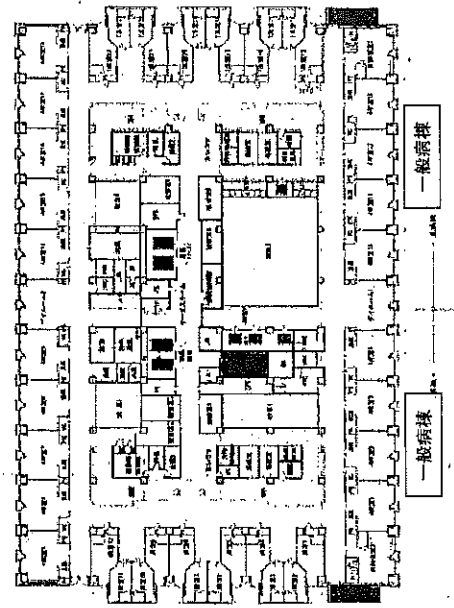
改定前

・5階（一般病床104床）

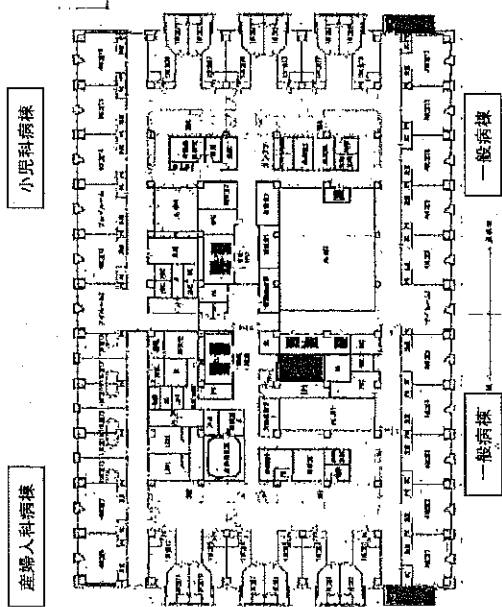
病床階	西ゾーンに一般病床52床、東ゾーンに一般病床52床という構成。中廊下スタイルや光庭の配置は、ほぼ基準階と同様の差りとした。
-----	---

・4階（産婦人科病床20床、小児科病床20床、一般病床59床）

病床階	この階には西ゾーンに産婦人科病床20床と一般病床20床、東ゾーンに小児科病床20床と一般病床31床という構成。産婦人科病床と一般病床とは廊下にて区画している。 産婦人科ゾーンには中央に分娩・陣痛室や新生児室もあり、いつでも対応可能な分娩室とした。近年個室利用者が増えているという状況から、LDR室と個室を多く配置した。 入院している子供の遊戯のために玩具や本を揃えたプレイルームを併設した。また、子供の行動制限、一般病棟患者の出入制限のため、小児科病棟と一般病棟間には廊下にて区画した。 中央にSS（スタップステーション）があることにより、管理しやすい配置となっている。中央に浴室等共同利用する部屋を配置した。
光庭	病院内部への採光・通風により省エネ効果と入院患者の癒し効果を期待できるように配慮した。



5階平面図



4階平面図

平面計画 (4階~5階)

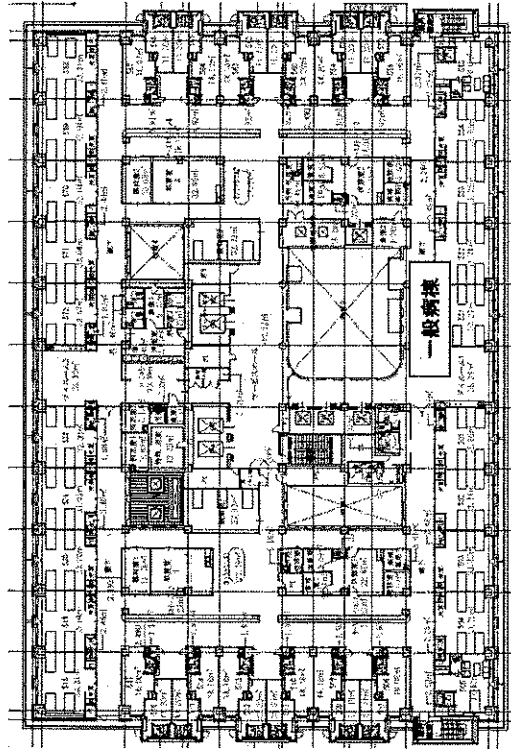
(仮称) 生駒市立病院 新築工事

改定後

・ 5 階 (一般病床104床)

病棟階

西ゾーンに一般病床52床、東ゾーンに一般病床52床という構成。中廊下スタイルや光庭の配置は、ほぼ基準階と同様の造りとした。



5 階平面図

・ 4 階 (産婦人科病床20床、小児科病床20床、一般病床59床)

病棟階

この階には西ゾーンに産婦人科病床20床と一般病床28床、東ゾーンに小児科病床20床と一般病床31床という構成。産婦人科病棟と一般病棟とは扉にて区画している。

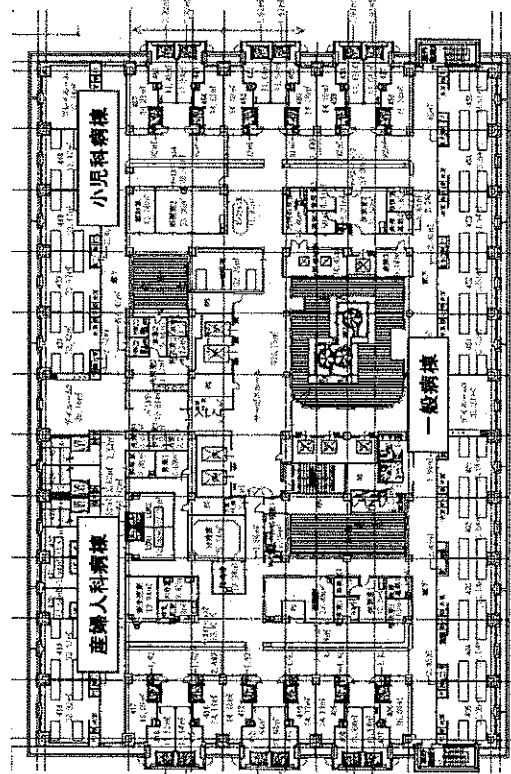
産婦人科ゾーンには中央に分娩・陣痛室や新生児室もあり、いつでも対応可能な動線距離とした。近年個室利用者が増えているという状況から、LDR2室と個室を多く配置した。

入院している子供のために玩具や本を備えたプレイルームを併設した。また、子供の行動制限、一般病棟患者の出入制限のため、小児科病棟と一般病棟間には扉にて区画した。

中央にSS (スタッフステーション) があることにより、管理しやすいつい配置となっている。中央に浴室等共同利用する部屋を配置した。

病院内部への採光・通風により省エネ効果と入院患者の癒し効果を期待できるように配慮した。

光庭

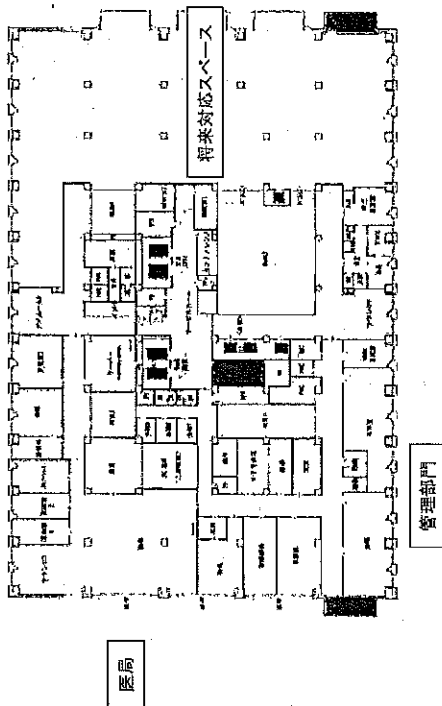


4 階平面図

改定前

・ 6 階

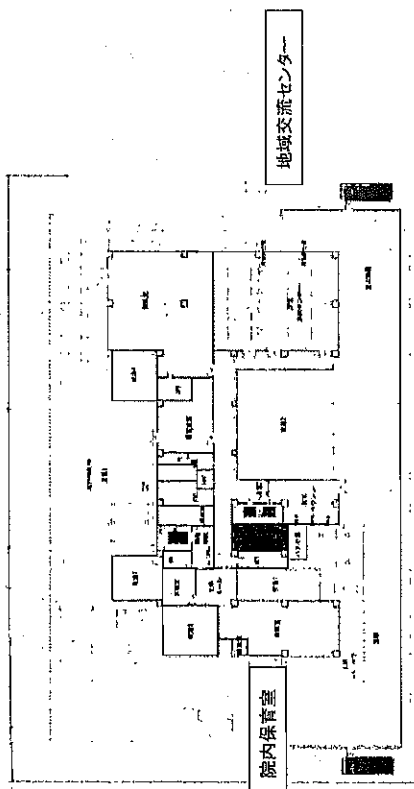
医局	医局内に当直室や図書室、カフアル室を併設することで機能面の充実、集約化を図り、医師の動線がよりコンパクトになるように計画した。
将来対応部分	将来の要求に対応できるサステイナブルな計画とし、また病院保育スペースにも対応できる計画とした。



6 階平面図

・ 7 階

保育室	職員が長く働き続けることのできる環境整備として、職員のアメニティを充実させるために院内職員専用の保育室を配置した。
地域交流センター	疾病予防の取り組みとして、市民に医療について関心をもってもらい、又、より正しい認識をもってもらえるように、医療講演会などの定例開催などが実現できるスペースとして配置した。また、大規模災害等の際には医療ガス等の配置も設置予定であることから、臨時病棟として活用できる計画とした。
屋上庭園	建物の冷暖房に係る省エネ効果や騒音の効果を図るため、可能な限り緑のスペースを確保した。



7 階平面図

(仮称) 生駒市立病院 新築工事

平面計画 (6階~7階)

改定後

・ 7階

保育室

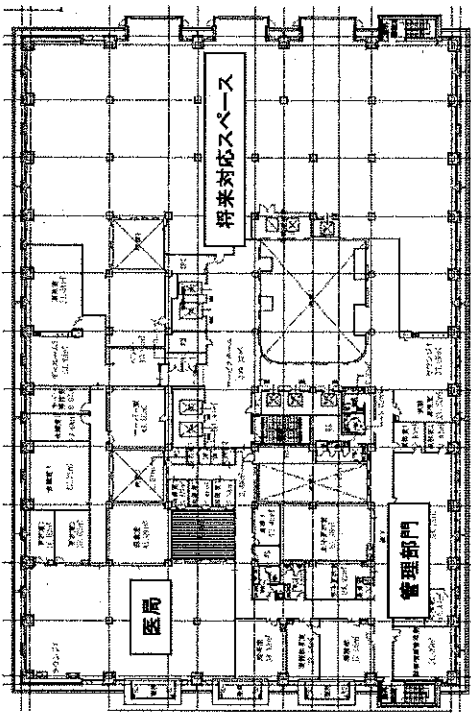
職員が長く働き続けることのできる環境整備として、職員のアメニティーを充実させるために院内職員専用の保育室を配置した。

講堂・交流センター

疾病予防の取り組みとして、市民に医療について関心をもってもらい、又、より正しい認識をもってもらえるように、医療講演会などの定期開催などが実現できるスペースとして配置した。

屋上庭園

建物の冷暖房に係る省エネ効果や植しの効果を図るため、可能な限り緑のスペースを確保した。



6階平面図

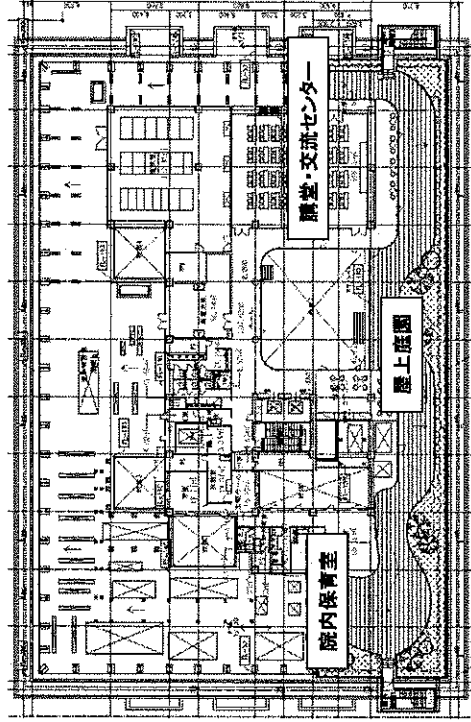
・ 6階

医局

医局内に当直室や図書室、カンファランス室を併設することで機能面の充実、集約化を図り、医師の動線がよりコンパクトになるように計画した。

将来対応部分

将来の要求に対応できるサステイナブルな計画とし、また病児保育スペースにも対応できる計画とした。



7階平面図

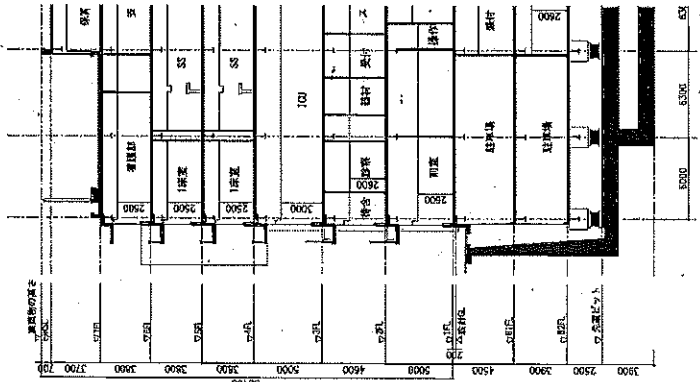
改定前

立面・断面計画

(1) 計画方針

- ・計画地は31m高度地区であり、高さ制限31m以内の建物高さを目指す。
- ・210床の各階への配分と高さ制限等の検討により下記のような構成とした。

1F	院内検査室	地域交流センター
2F	放射線科	検査対応スペース
3F	放射線科	一般診療・検査室 (104床)
4F	放射線科	一般診療・検査室 (56床)
5F	放射線科	小児科病棟 (206床)
6F	放射線科	小児科病棟 (206床)
7F	放射線科	小児科病棟 (206床)
8F	放射線科	小児科病棟 (206床)
9F	放射線科	小児科病棟 (206床)
10F	放射線科	小児科病棟 (206床)
11F	放射線科	小児科病棟 (206床)
12F	放射線科	小児科病棟 (206床)
13F	放射線科	小児科病棟 (206床)
14F	放射線科	小児科病棟 (206床)
15F	放射線科	小児科病棟 (206床)
16F	放射線科	小児科病棟 (206床)
17F	放射線科	小児科病棟 (206床)
18F	放射線科	小児科病棟 (206床)
19F	放射線科	小児科病棟 (206床)
20F	放射線科	小児科病棟 (206床)
21F	放射線科	小児科病棟 (206床)
22F	放射線科	小児科病棟 (206床)
23F	放射線科	小児科病棟 (206床)
24F	放射線科	小児科病棟 (206床)
25F	放射線科	小児科病棟 (206床)
26F	放射線科	小児科病棟 (206床)
27F	放射線科	小児科病棟 (206床)
28F	放射線科	小児科病棟 (206床)
29F	放射線科	小児科病棟 (206床)
30F	放射線科	小児科病棟 (206床)
31F	放射線科	小児科病棟 (206床)
32F	放射線科	小児科病棟 (206床)
33F	放射線科	小児科病棟 (206床)
34F	放射線科	小児科病棟 (206床)
35F	放射線科	小児科病棟 (206床)
36F	放射線科	小児科病棟 (206床)
37F	放射線科	小児科病棟 (206床)
38F	放射線科	小児科病棟 (206床)
39F	放射線科	小児科病棟 (206床)
40F	放射線科	小児科病棟 (206床)
41F	放射線科	小児科病棟 (206床)
42F	放射線科	小児科病棟 (206床)
43F	放射線科	小児科病棟 (206床)
44F	放射線科	小児科病棟 (206床)
45F	放射線科	小児科病棟 (206床)
46F	放射線科	小児科病棟 (206床)
47F	放射線科	小児科病棟 (206床)
48F	放射線科	小児科病棟 (206床)
49F	放射線科	小児科病棟 (206床)
50F	放射線科	小児科病棟 (206床)
51F	放射線科	小児科病棟 (206床)
52F	放射線科	小児科病棟 (206床)
53F	放射線科	小児科病棟 (206床)
54F	放射線科	小児科病棟 (206床)
55F	放射線科	小児科病棟 (206床)
56F	放射線科	小児科病棟 (206床)
57F	放射線科	小児科病棟 (206床)
58F	放射線科	小児科病棟 (206床)
59F	放射線科	小児科病棟 (206床)
60F	放射線科	小児科病棟 (206床)
61F	放射線科	小児科病棟 (206床)
62F	放射線科	小児科病棟 (206床)
63F	放射線科	小児科病棟 (206床)
64F	放射線科	小児科病棟 (206床)
65F	放射線科	小児科病棟 (206床)
66F	放射線科	小児科病棟 (206床)
67F	放射線科	小児科病棟 (206床)
68F	放射線科	小児科病棟 (206床)
69F	放射線科	小児科病棟 (206床)
70F	放射線科	小児科病棟 (206床)
71F	放射線科	小児科病棟 (206床)
72F	放射線科	小児科病棟 (206床)
73F	放射線科	小児科病棟 (206床)
74F	放射線科	小児科病棟 (206床)
75F	放射線科	小児科病棟 (206床)
76F	放射線科	小児科病棟 (206床)
77F	放射線科	小児科病棟 (206床)
78F	放射線科	小児科病棟 (206床)
79F	放射線科	小児科病棟 (206床)
80F	放射線科	小児科病棟 (206床)
81F	放射線科	小児科病棟 (206床)
82F	放射線科	小児科病棟 (206床)
83F	放射線科	小児科病棟 (206床)
84F	放射線科	小児科病棟 (206床)
85F	放射線科	小児科病棟 (206床)
86F	放射線科	小児科病棟 (206床)
87F	放射線科	小児科病棟 (206床)
88F	放射線科	小児科病棟 (206床)
89F	放射線科	小児科病棟 (206床)
90F	放射線科	小児科病棟 (206床)
91F	放射線科	小児科病棟 (206床)
92F	放射線科	小児科病棟 (206床)
93F	放射線科	小児科病棟 (206床)
94F	放射線科	小児科病棟 (206床)
95F	放射線科	小児科病棟 (206床)
96F	放射線科	小児科病棟 (206床)
97F	放射線科	小児科病棟 (206床)
98F	放射線科	小児科病棟 (206床)
99F	放射線科	小児科病棟 (206床)
100F	放射線科	小児科病棟 (206床)



- ・敷地周辺地盤は高低差があることから、道路からのアクセス等を考慮し、設計GLを仮BM-200とした。
- ・階高は基準階は3.8mとし、エントランスホール、放射線科のある1階、OP室のある3階を5.0mとした。
- ・透折センターのある2階は空調ダクトの設備を考慮し4.6mとした。
- ・駐車場の地階は搬入を考慮し、地下1階を4.5m、地下2階を3.9mとした。
- ・天井高さは基準階の病室で2.5m、1階外来ソニーやOP室は2.8~3.0mとした。
- ・通常の縦移動にはE.Vを10ヶ所、小荷物昇降機1ヶ所を設置し、救急からOP室への移動もスムーズにした。

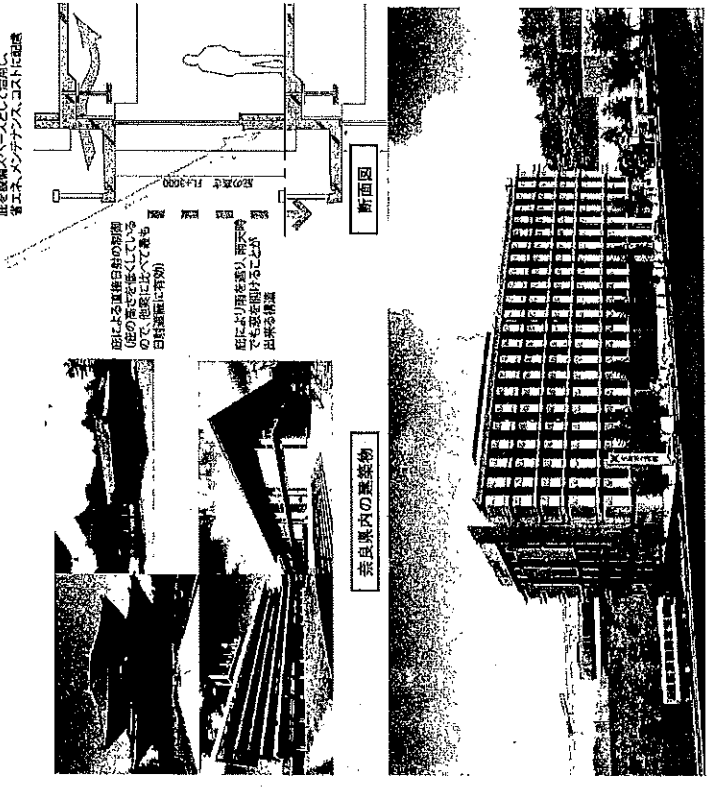
景観・色彩計画

(1) 計画方針

本計画においては、生駒市の景観の背景となっている生駒山系や矢田丘陵などの「緑の連続」に配慮しながら、周辺地域とも合致する色彩計画を行い、良好な景観環境を目指すものとします。

(2) 建物外観

- ・奈良県内には、日本建築の軒庇を用いた優れた建築が多数あり、奈良県庁や県立博物館といった近代建築においても周辺環境と調和する外観が実現されている。
- ・生駒市立病院においても良き伝統を継承した外観デザインとした。
- ・色彩は銀黒色の瓦や漆喰の白色、黒系色の木で構成された日本建築に倣いモノトーン系とした。
- ・庇により直射日光を制御し熱負荷を下げるとともに、雨の日にも窓を開けられる構成とした。
- ・Pcc板を採用することで、工期の短縮と仮設置の抑制を図る。



(仮称) 生駒市立病院 新築工事

7. 立面断面計画 8. 景観・色彩計画

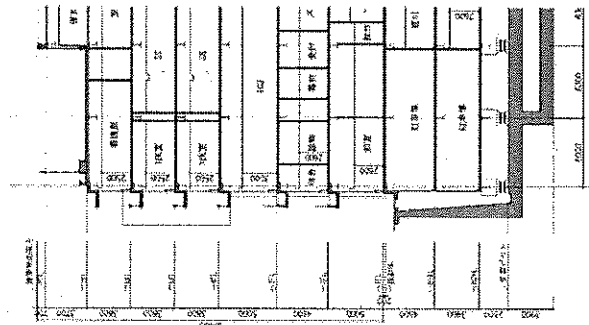
立面・断面計画

(1) 計画方針

- ・計画地は31m高度地区であり、高さ制限31m以内の建物高さを目指す。
- ・210床の各階への配分と高さ制限等の検討により下記のような構成とした。

階内床面積		病室・交差センター	
7階	▼	冠装工部門	冠装対応スペース
6階	▼	一般病棟・緩和室(104床)	
5階	▼	一般病棟・緩和室(59床)	
4階	▼	小児科病棟(20床)	小児科病棟(20床)
3階	▼	リハビリテーション科	リハビリセンター
2階	▼	ICU(7床)	手術室
1階	▼	ICU(7床)	手術室
B1階	▼	ICU(7床)	手術室
B2階	▼	ICU(7床)	手術室

- ・敷地現況地盤は高低差があることから、道路からのアクセス等を考慮し、設計GLを板BM-200とした。
- ・階高は基準階は3.8mとし、エントランスホール、放射線科のある1階、OP室のある3階を5.0mとした。
- ・透析センターのある2階は空調ダクトの設備を考慮し4.6mとした。
- ・駐車場の地階は搬入を考慮し、地下1階を4.5m、地下2階を3.9mとした。
- ・天井高さは基準階の病室で2.5m、1階外来ゾーンやOP室は2.8~3.0mとした。
- ・通常の縦移動にはEVを10ヶ所、小荷物昇降機1ヶ所を設置し、救急からOP室への移動もスムーズにした。



景観・色彩計画

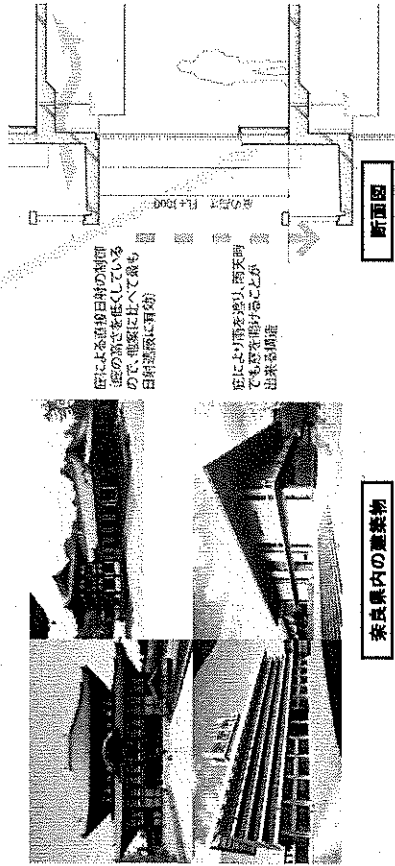
(1) 計画方針

本計画においては、生駒市の景観の背景となっている生駒山系や矢田丘陵などの「緑の積線」に配慮しながら、周辺地域とも合致する色彩計画を行い、良好な景観環境を目指すものとします。

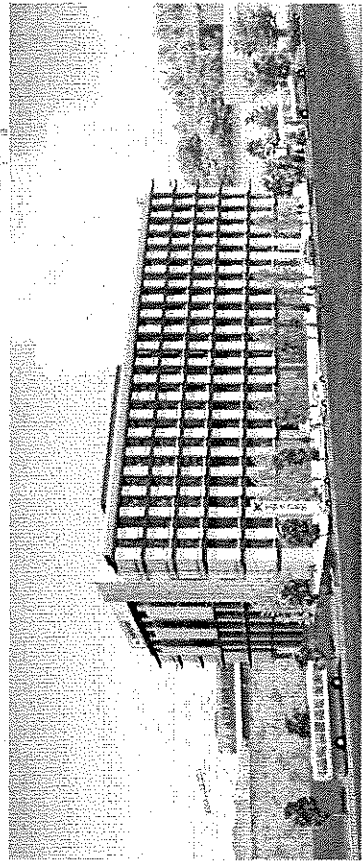
(2) 建物外観

- ・奈良県内には、日本建築の軒庇を用いた優れた建築が多数あり、奈良県庁や県立博物館といった近代建築においても周辺環境と調和する外観が実現されている。
- ・生駒市立病院においても良き伝統を継承した外観デザインとした。
- ・色彩は銀黒色の瓦や漆喰の白色、黒系色の木で構成された日本建築に倣いモノトーン系とした。
- ・庇により直射日光を制御し熱負荷を下げるとともに、雨の日にも窓を開けられる構成とした。
- ・Pea板を採用することで、工期の短縮と仮設費の抑制を図る。

庇を遮断スペースとして活用し、省エネ、メンテナンス、コストに配慮



奈良県内の建築物



別紙 2

・市病院事業会計収支計画

市の病院事業会計収支計画(単位:千円)

Table with columns for fiscal year (年度) from 2010 to 2028, and rows for various financial items (科目) such as income (収入) and expenses (支出). The table includes sub-totals for 'Main Items' (主要科目) and 'Total' (合計).

後定改

平成27年11月16日現在
生駒市消防事業会計収支計画

勘定科目	年度	27.6月期別												2025(H27)	2026(H28)	
		2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)			2022(H34)
基金収入		261	5,865	151	42,274	519,332	215,502	240,748	505,009	504,289	500,587	502,896	502,188	502,188	501,570	501,285
一般会計繰入金(普通交付金等)	1	38	1,234	38	192,285	180,300	192,285	192,285	192,285	192,285	192,285	192,285	192,285	192,285	189,546	189,241
企業債利息	1	38	256	38	1,234	5,876	5,155	4,451	3,760	3,040	2,338	1,627	939	321	16	16
2. 病床前(704坪×稼期床稼)					22,820	133,760	147,840	147,840	147,840	147,840	147,840	147,840	147,840	147,840	147,840	147,840
3. 緊急非常用(189坪×6床×12,800坪)					41,385	41,385	41,385	41,385	41,385	41,385	41,385	41,385	41,385	41,385	41,385	41,385
II 一般会計繰入金(特別交付金等)					8,947	20,109	27,231	39,101	39,101	39,101	39,101	39,101	39,101	39,101	39,101	39,101
1. 総合補給庫(供添追加費用等)					142	142	142	142	142	142	142	142	142	142	142	142
2. 他会計補助金(院内医務の運営費)					3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385
3. 小児医療費(187坪/床×小児科床稼)					4,748	11,870	23,740	23,740	23,740	23,740	23,740	23,740	23,740	23,740	23,740	23,740
4. 小児救急医療センター(10,634坪/床)					10,634	10,634	10,634	10,634	10,634	10,634	10,634	10,634	10,634	10,634	10,634	10,634
5. 災害対策備品					6,277	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
III 長期借入金					41,000											
IV 緊急補給庫補助金					7,054	7,971	7,971	7,971	7,971	7,971	7,971	7,971	7,971	7,971	7,971	7,971
1. (年日算額44,087円/回、年日算額1,454円×2回)					2,116	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033
2. (年日算額1,148円/回)					4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938
V 指定管理費					422,380											
VI 施設整備費に係る支払消費税					43											
VII その他					79	20	43									
基金の支出					58,264	422,841	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264
I 指定管理費交付金					53,461	2,576	10,439	11,356	11,356	11,356	11,356	11,356	11,356	11,356	11,356	11,356
1. 小児科病棟整備費(供添追加費用)					2,116	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033	3,033
2. 救急センター整備費(供添追加費用)					4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938	4,938
3. 院内設備の運営費					2,526	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385	3,385
II 減価償却費					384,301	384,301	384,301	384,301	384,301	384,301	384,301	384,301	384,301	384,301	384,301	384,301
1. 建物本体					129,484	154,180	154,180	154,180	154,180	154,180	154,180	154,180	154,180	154,180	154,180	154,180
2. 付帯施設					180,044	228,053	228,053	228,053	228,053	228,053	228,053	228,053	228,053	228,053	228,053	228,053
3. その他					1,919	2,068	2,068	2,068	2,068	2,068	2,068	2,068	2,068	2,068	2,068	2,068
III 病院用地取得料					53,161	63,217	63,217	63,217	63,217	63,217	63,217	63,217	63,217	63,217	63,217	63,217
IV 燃料費					48,519	48,519	48,519	48,519	48,519	48,519	48,519	48,519	48,519	48,519	48,519	48,519
V 雑費					3,302	3,302	3,302	3,302	3,302	3,302	3,302	3,302	3,302	3,302	3,302	3,302
VI 燃料費					743	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340	1,340
VII 災害対策費					229	21,807	22,693	22,693	22,693	22,693	22,693	22,693	22,693	22,693	22,693	22,693
VIII 企業債利息					1,060	4,999	4,999	4,999	4,999	4,999	4,999	4,999	4,999	4,999	4,999	4,999
IX 長期借入金利息					59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59
X 消費税(指定管理費に係る) ※10%計算					104	423	1,185	1,822	2,756	3,580	4,486	5,002	5,623	6,359	7,129	7,929
収支の差引					15	△ 53,333	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146
資本的収入					4,787	35,003	275,487	1,011,496	6,787,076	1,398,884	802,493	862,493	862,493	862,493	862,493	862,493
I 企業債					32,000	74,900	200,000	1,010,200	6,721,400	1,058,700						
II 出資金					900	587	155	800	16,391	83,500	242,493	242,493	242,493	242,493	242,493	242,493
III 一般会計繰入金(普通交付金等)					900	432	466	466	466	466	466	466	466	466	466	466
IV 企業債利息					22,103	48,858	98,000	1,018,824	6,789,098	1,405,387	982,387	982,387	982,387	982,387	982,387	982,387
V 建設費					3,007	48,858	95,312	1,016,068	6,721,904	1,377,038	280	280	280	280	280	280
VI 燃料費					2,908	14,893	15,521	15,521	15,521	15,521	15,521	15,521	15,521	15,521	15,521	15,521
VII 雑費					34,065	79,731	893,946	6,705,977	1,076,838	893,946	893,946	893,946	893,946	893,946	893,946	893,946
VIII 企業債元金償還金					689											
IX 長期借入金返済金					1,780	6,045	179,466	△ 8,128	△ 1,022	△ 6,703	△ 370,893	△ 119,894	△ 119,893	△ 389,884	△ 399,893	△ 399,893
X 資本的収入の差引					2,282	8,362	134,525	84,046	3,088,229	87,864	109,883	110,130	136,590	137,816	129,432	126,515
資本的支出					32,000	33,023	33,075	33,134	33,192	33,250	33,308	33,366	33,424	33,482	33,540	33,598
資本的収入の差引					15	△ 53,333	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146
収支の差引					15	△ 53,333	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146
基金の収入					4,787	35,003	275,487	1,011,496	6,787,076	1,398,884	802,493	862,493	862,493	862,493	862,493	862,493
基金の支出					58,264	422,841	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264
収支の差引					15	△ 53,333	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146
基金の収入					4,787	35,003	275,487	1,011,496	6,787,076	1,398,884	802,493	862,493	862,493	862,493	862,493	862,493
基金の支出					58,264	422,841	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264
収支の差引					15	△ 53,333	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146
基金の収入					4,787	35,003	275,487	1,011,496	6,787,076	1,398,884	802,493	862,493	862,493	862,493	862,493	862,493
基金の支出					58,264	422,841	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264
収支の差引					15	△ 53,333	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146
基金の収入					4,787	35,003	275,487	1,011,496	6,787,076	1,398,884	802,493	862,493	862,493	862,493	862,493	862,493
基金の支出					58,264	422,841	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264
収支の差引					15	△ 53,333	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146
基金の収入					4,787	35,003	275,487	1,011,496	6,787,076	1,398,884	802,493	862,493	862,493	862,493	862,493	862,493
基金の支出					58,264	422,841	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264	481,264
収支の差引					15	△ 53,333	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146	△ 53,146
基金の収入					4,787	35,003	275,487	1,011,496	6,787,076	1,398,884	802,493	862,493	862,493	862,493	862,493	862,493
基金の支出					58,264	422,841	481,264	481,264								